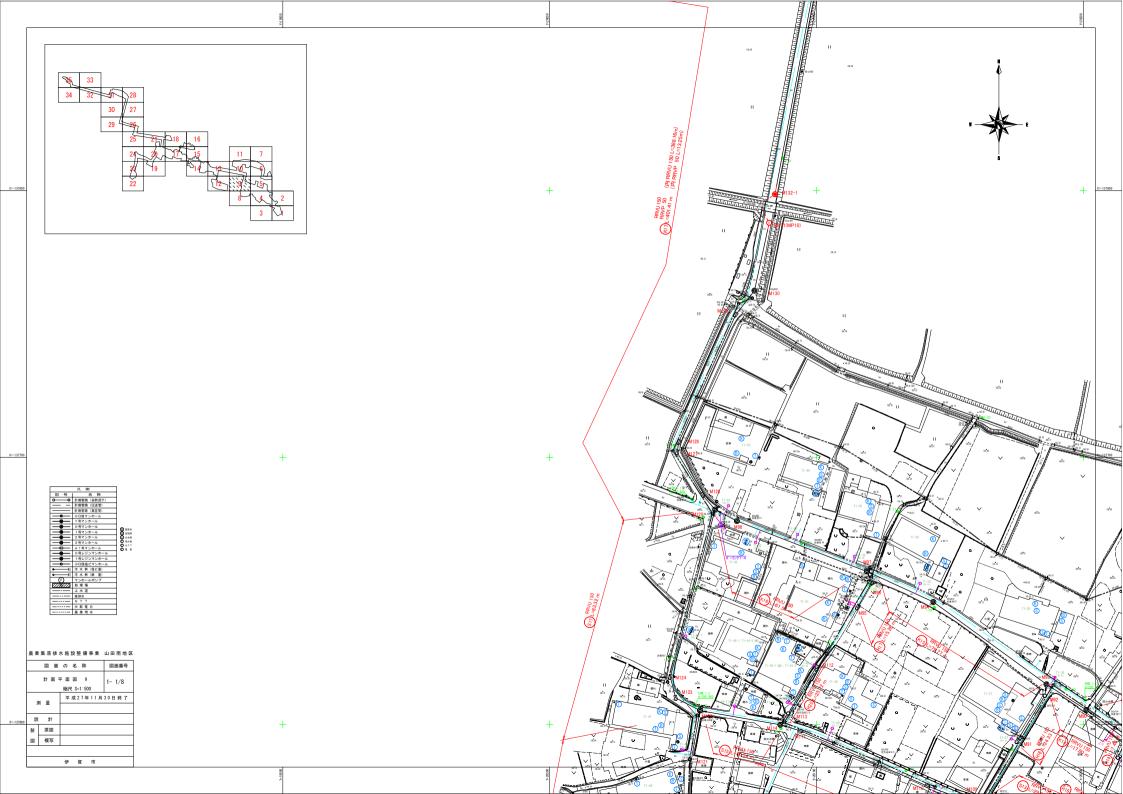
令和 元 年度

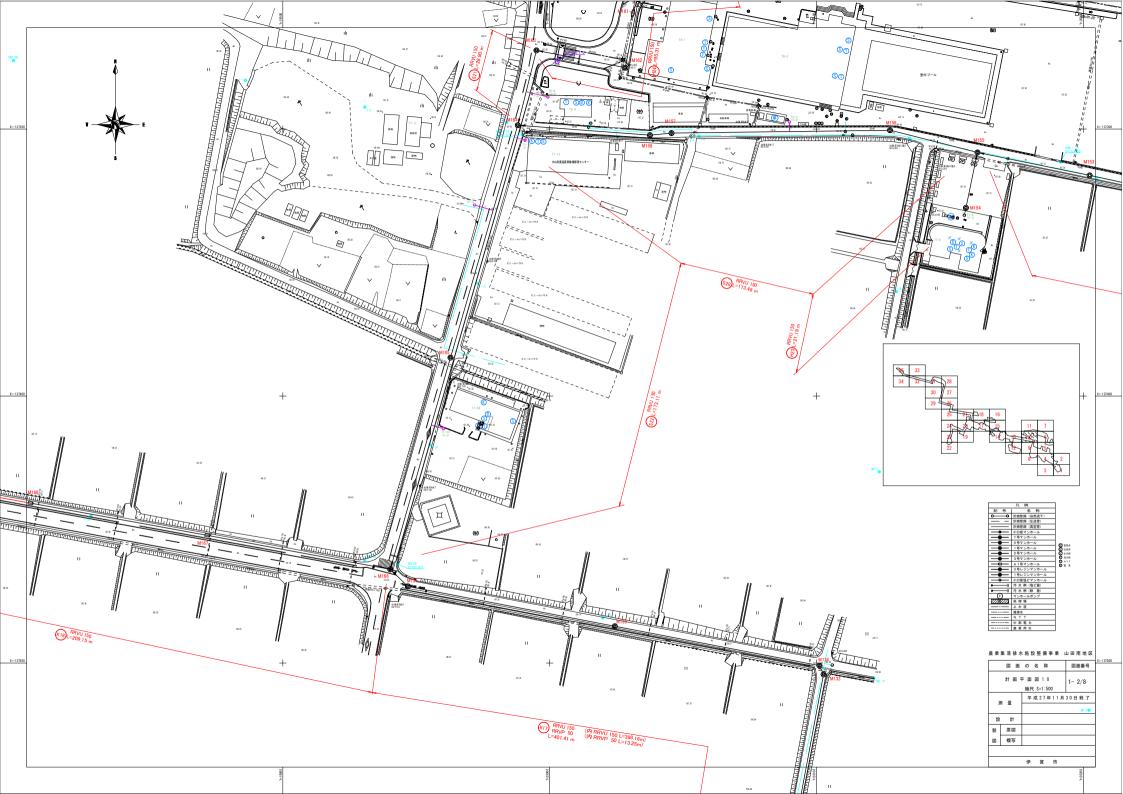
農業集落排水施設整備事業 山田南地区管路施設工事 請負設計書

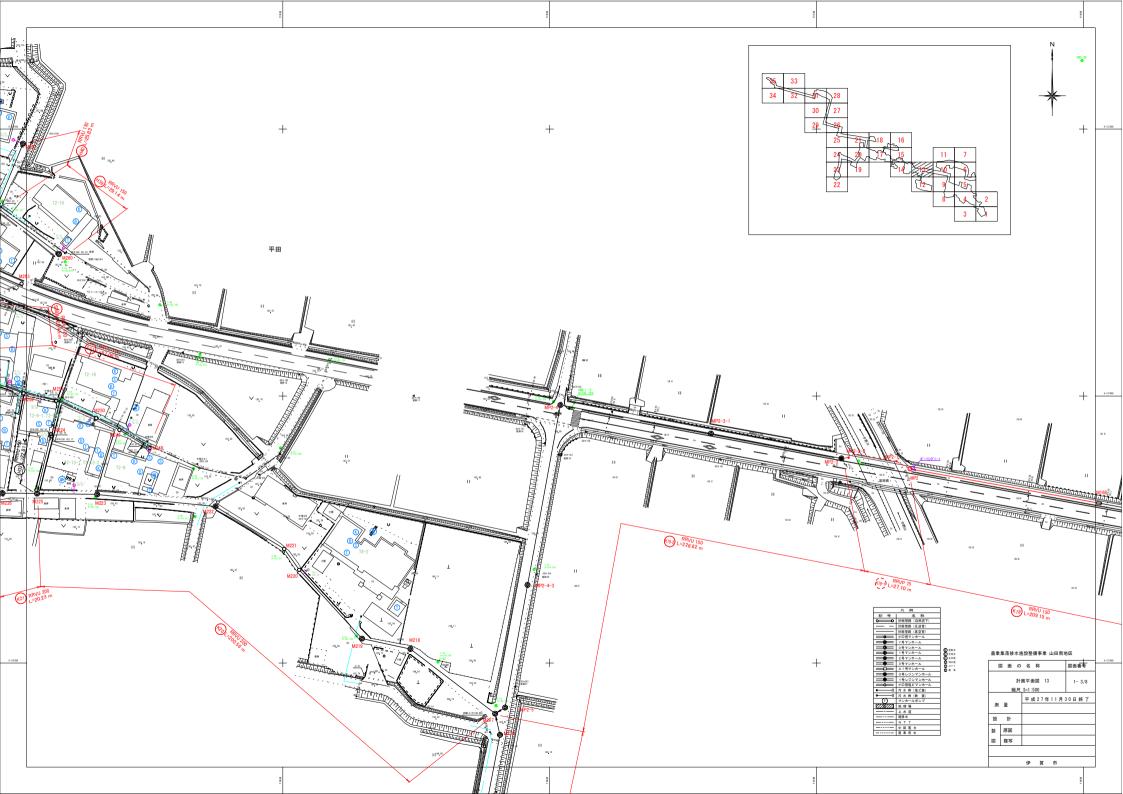
# 【中島3工区】

添付図面一覧表

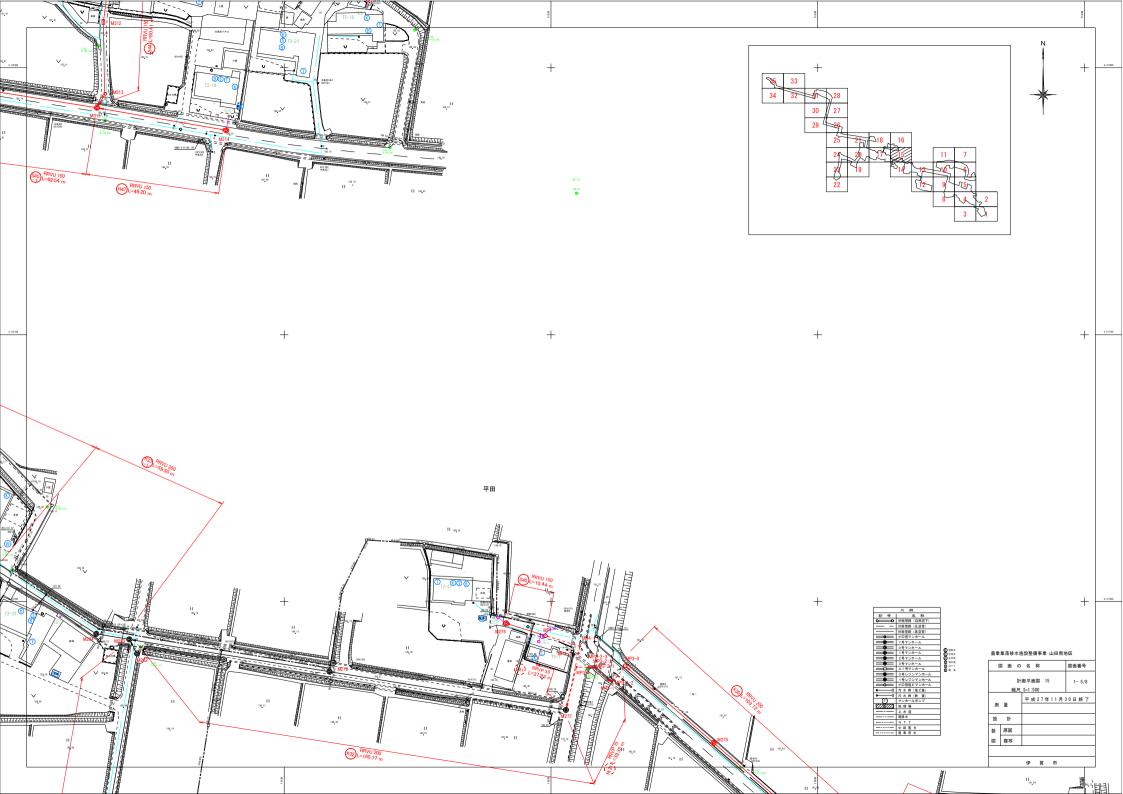
番号	図	面	の	名	称	枚 数
1	計	画	平	面	図	8
2	縦	断	ŕ	面	図	8
3	路	線	横	面 面	図	7
4	取	付 管	横	断 面	図	4
5	各	種構	造 物	工法	図	23
6	公	共汚水村	姓設 置	計画平	面 図	3
7	中	継ポ	ンプオ	曹工法	三 図	6
8	そ	の	他コ	法	図	4
			•			
計						63



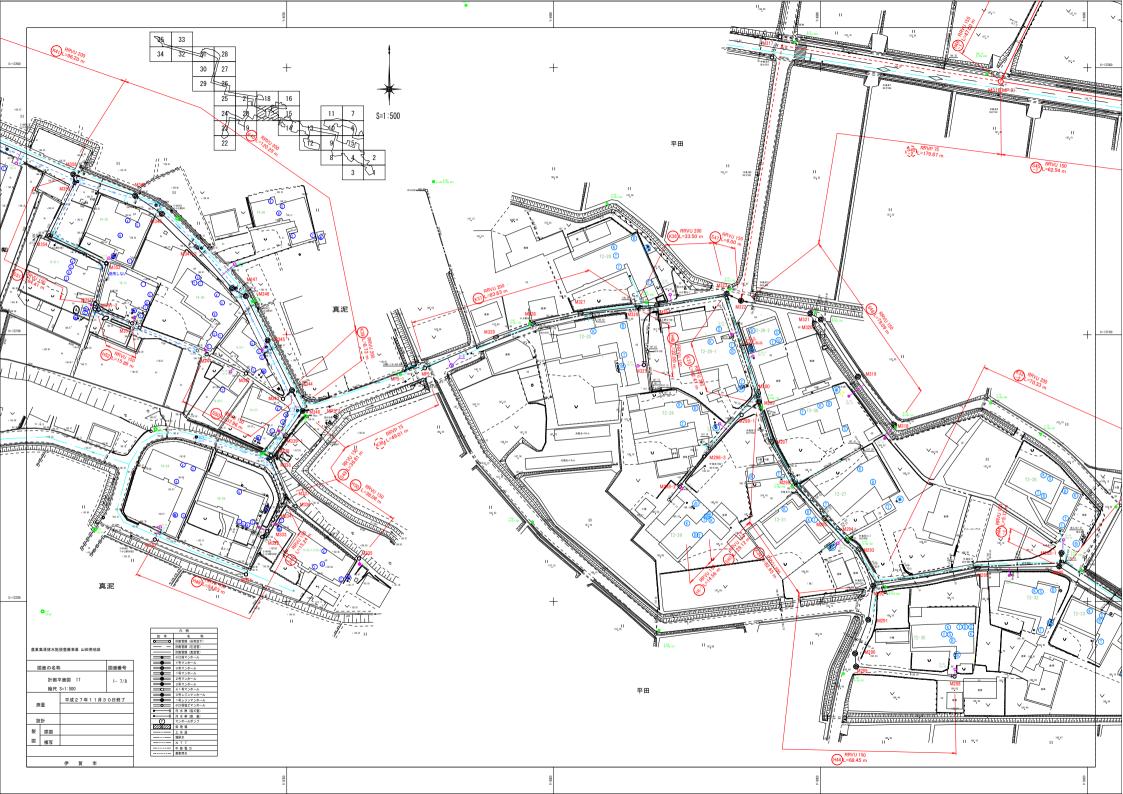


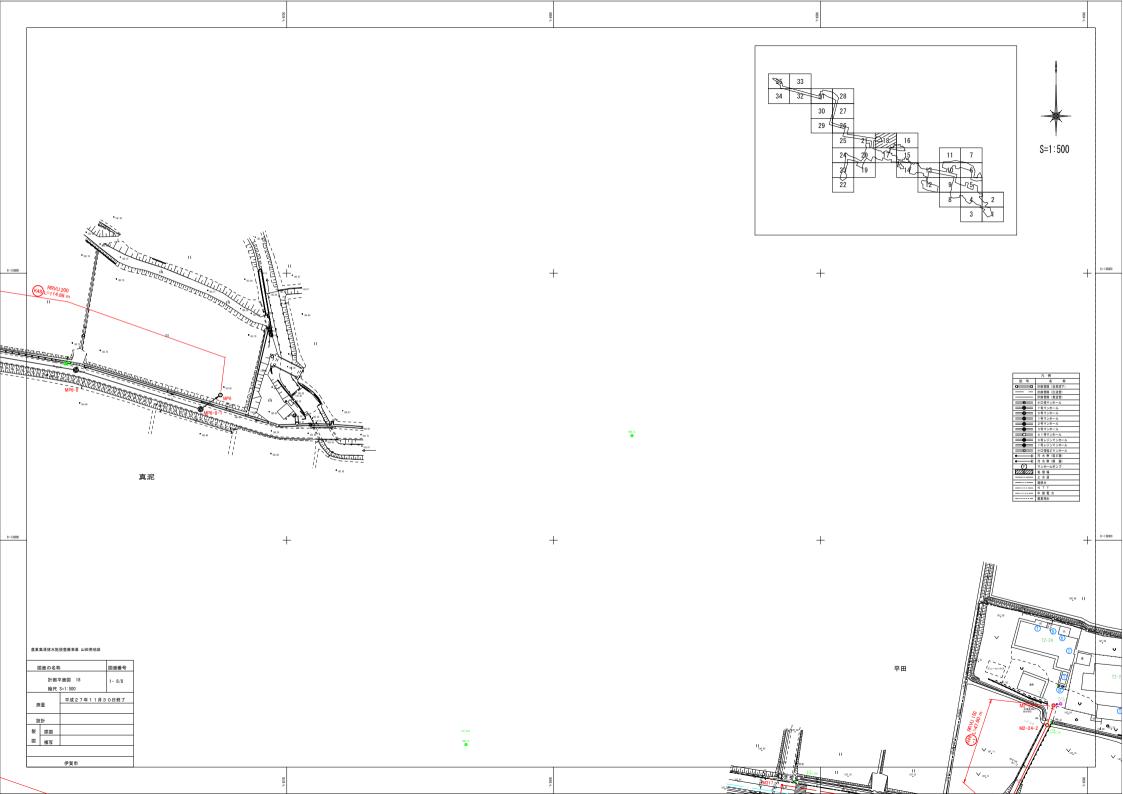


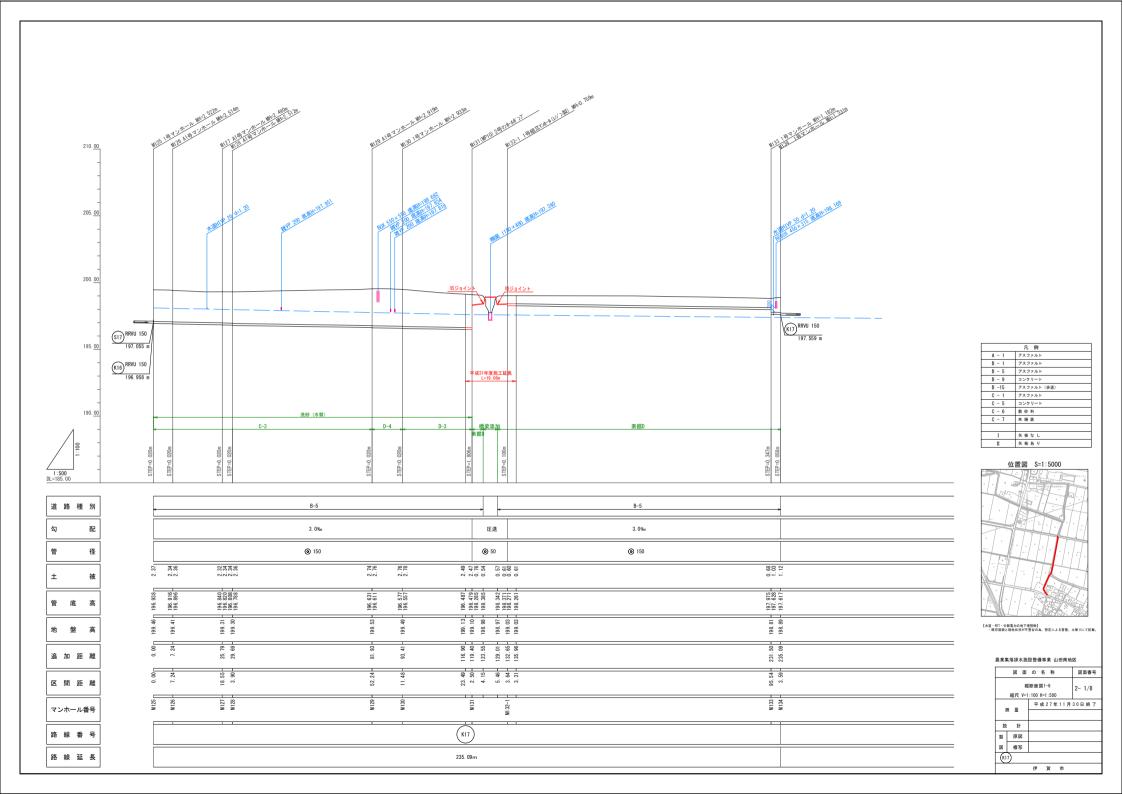


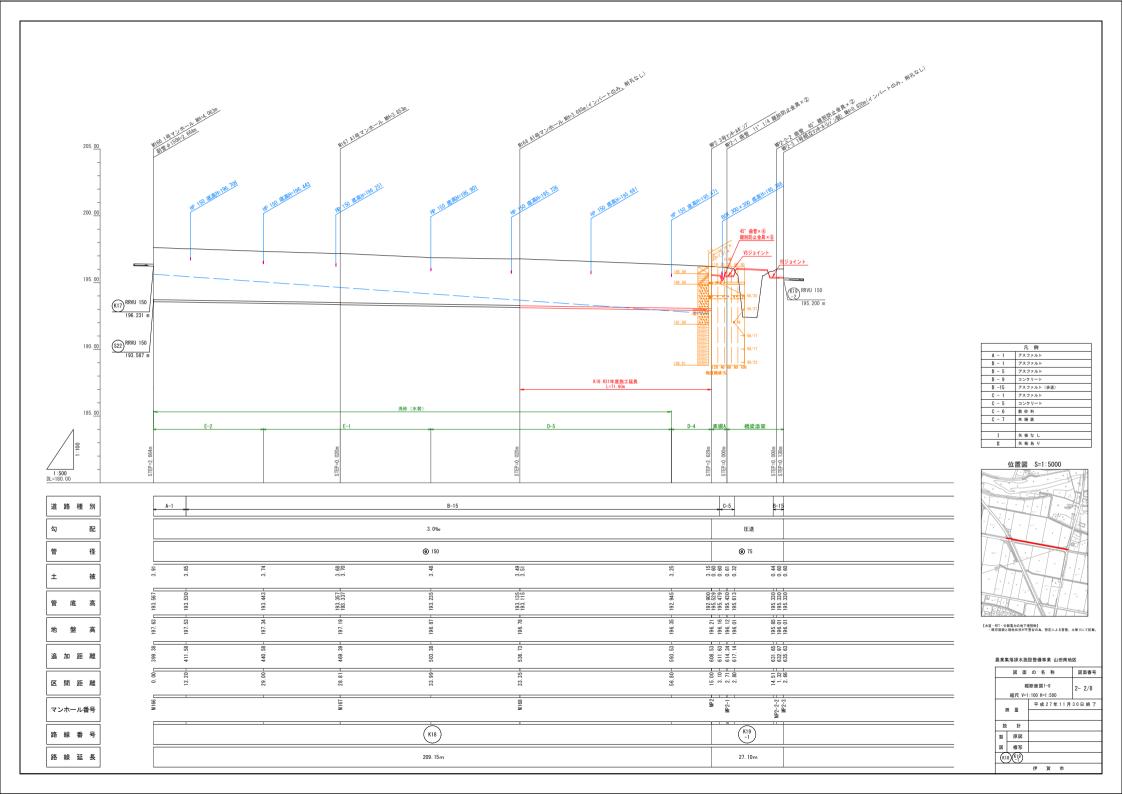


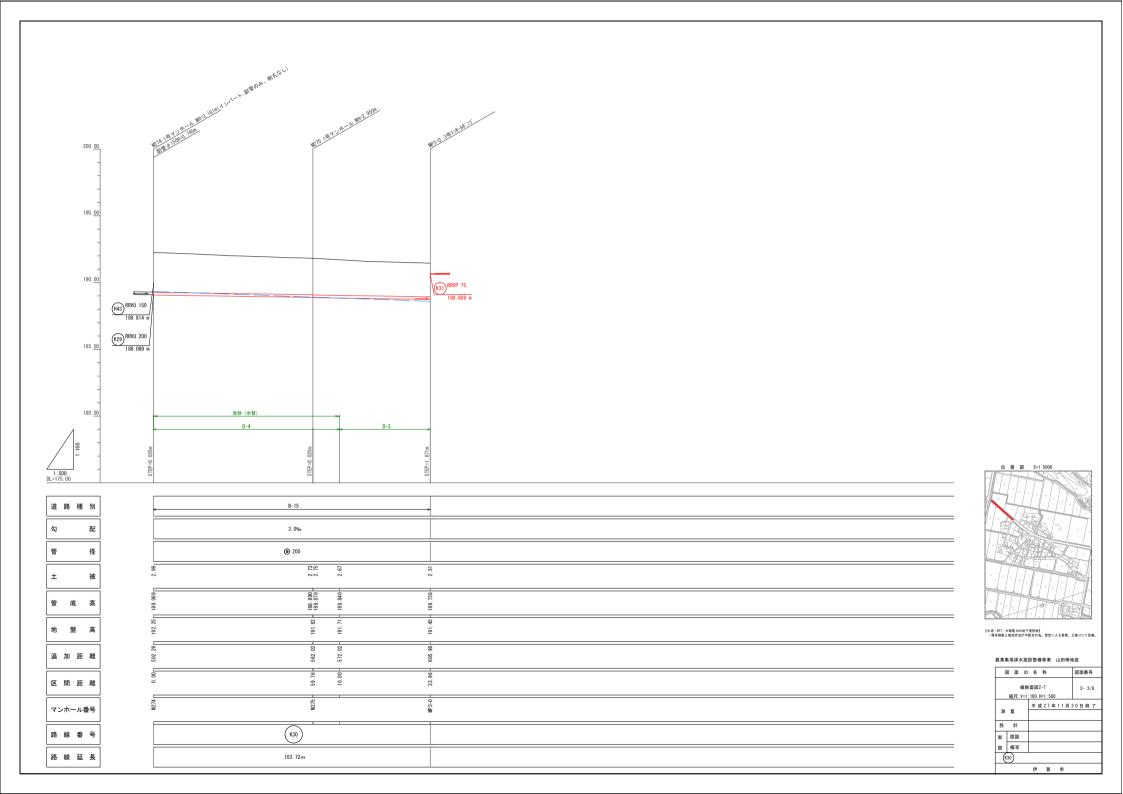


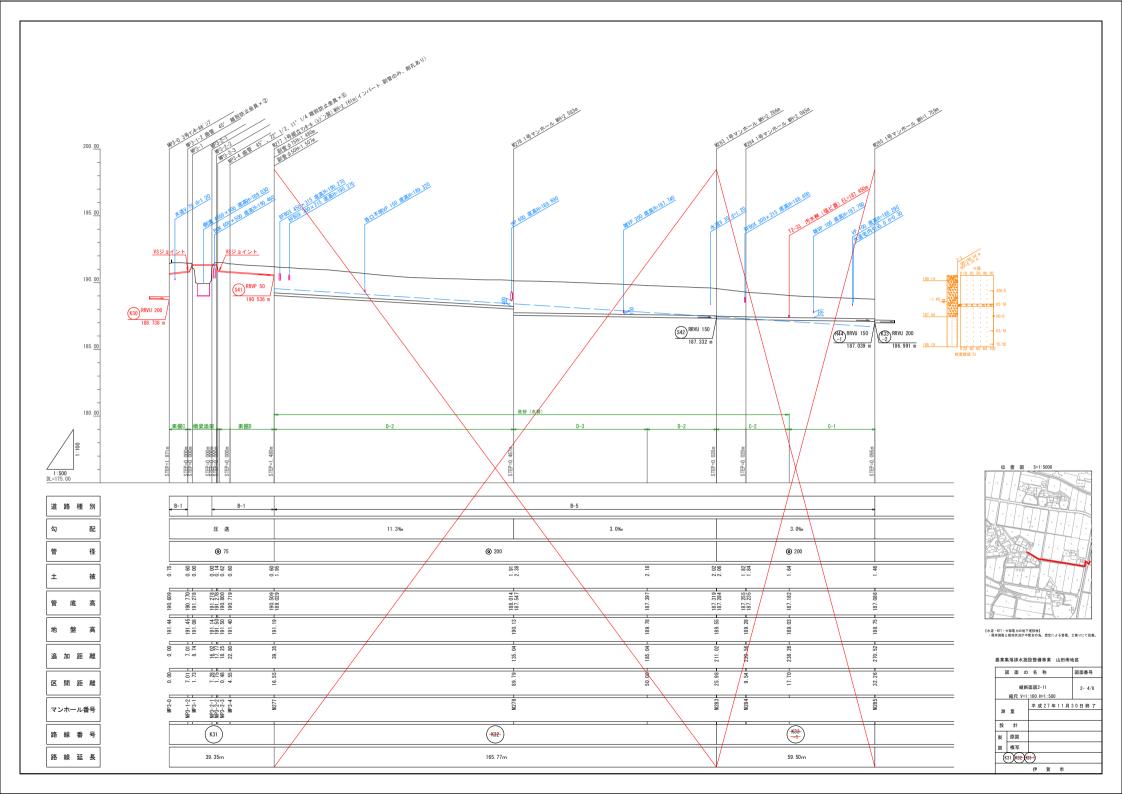


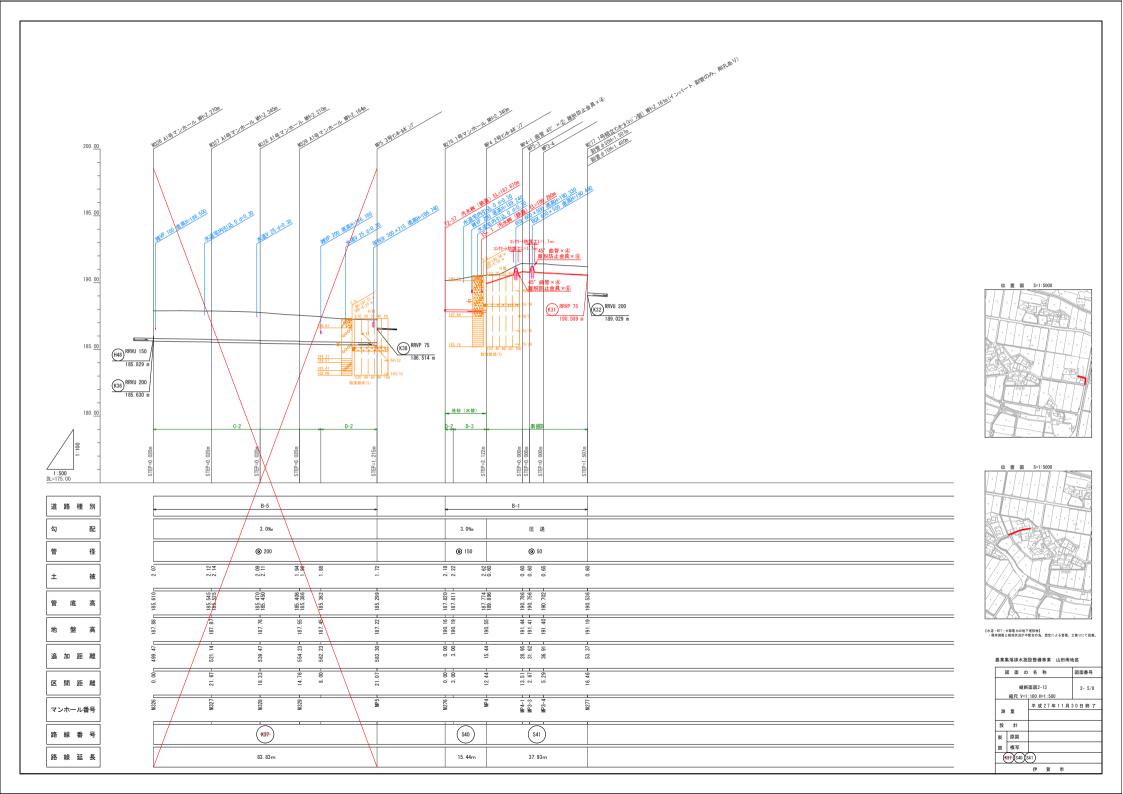


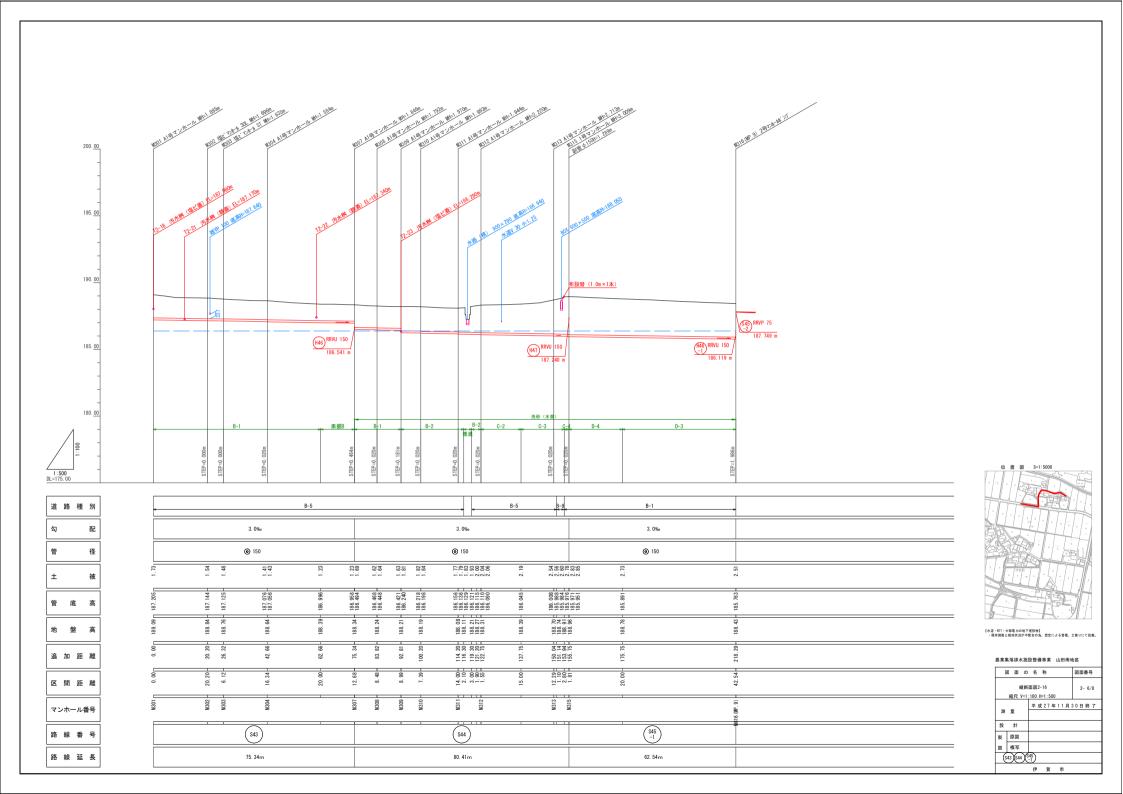


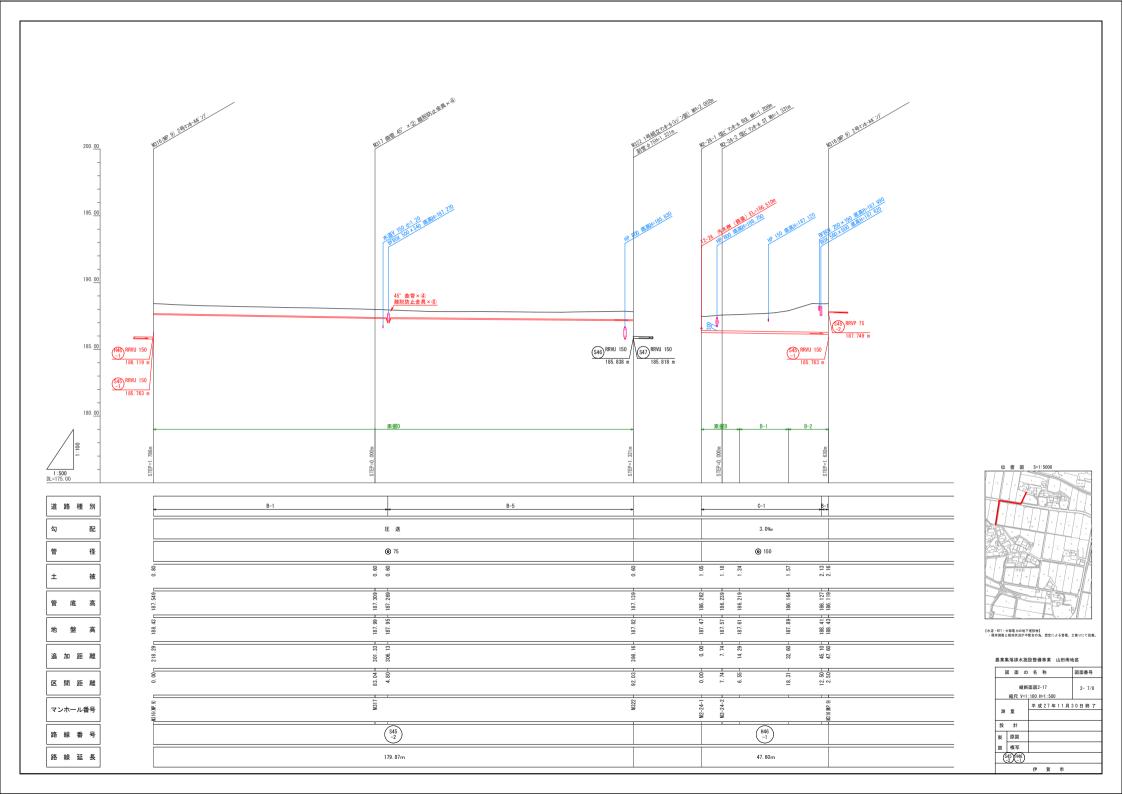


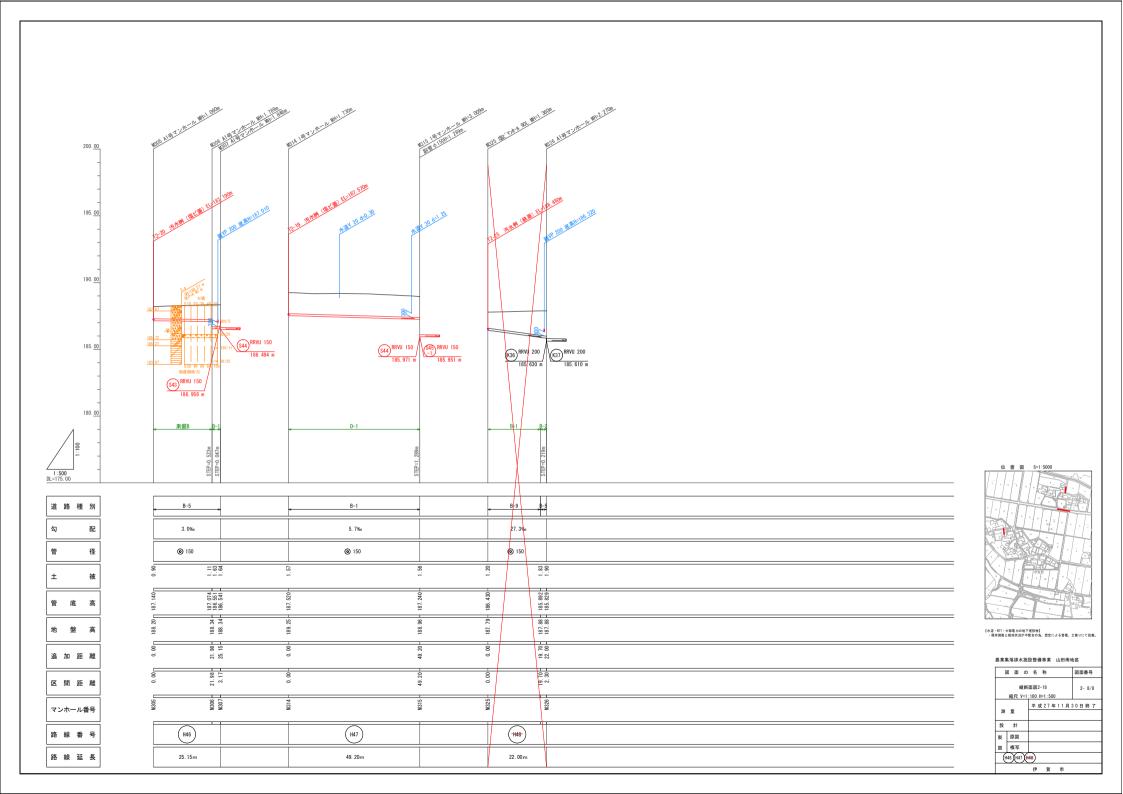


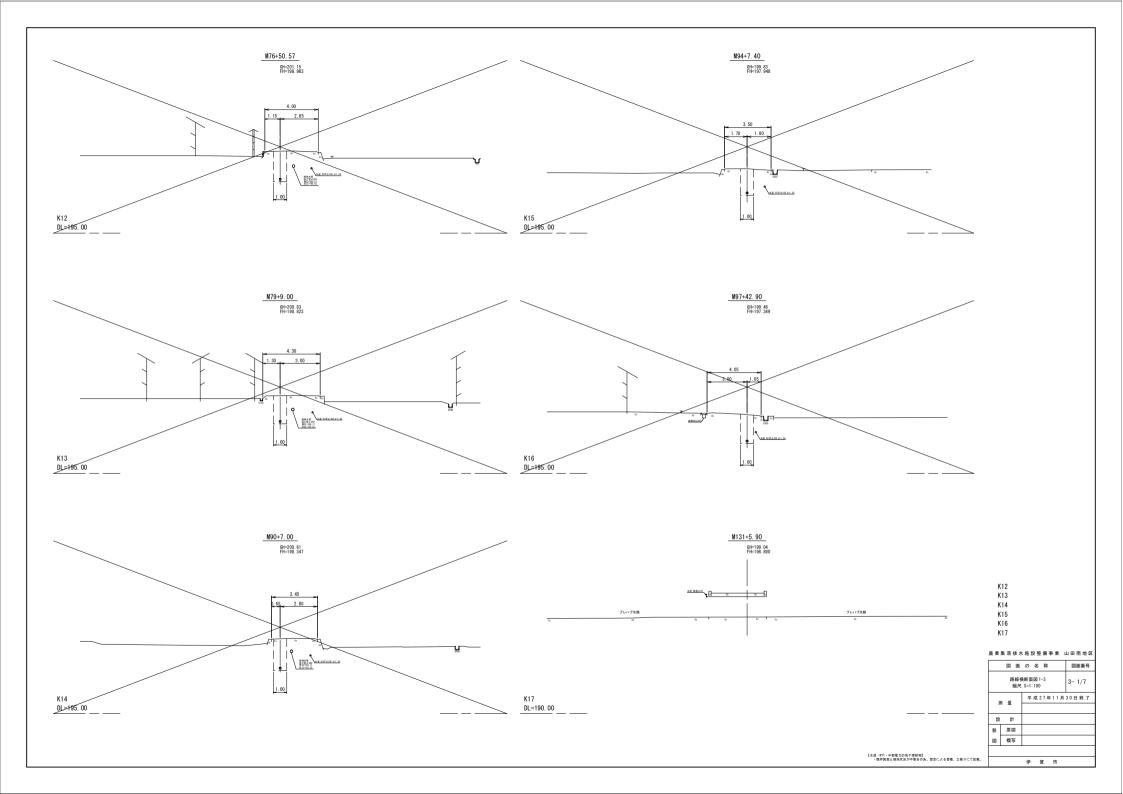


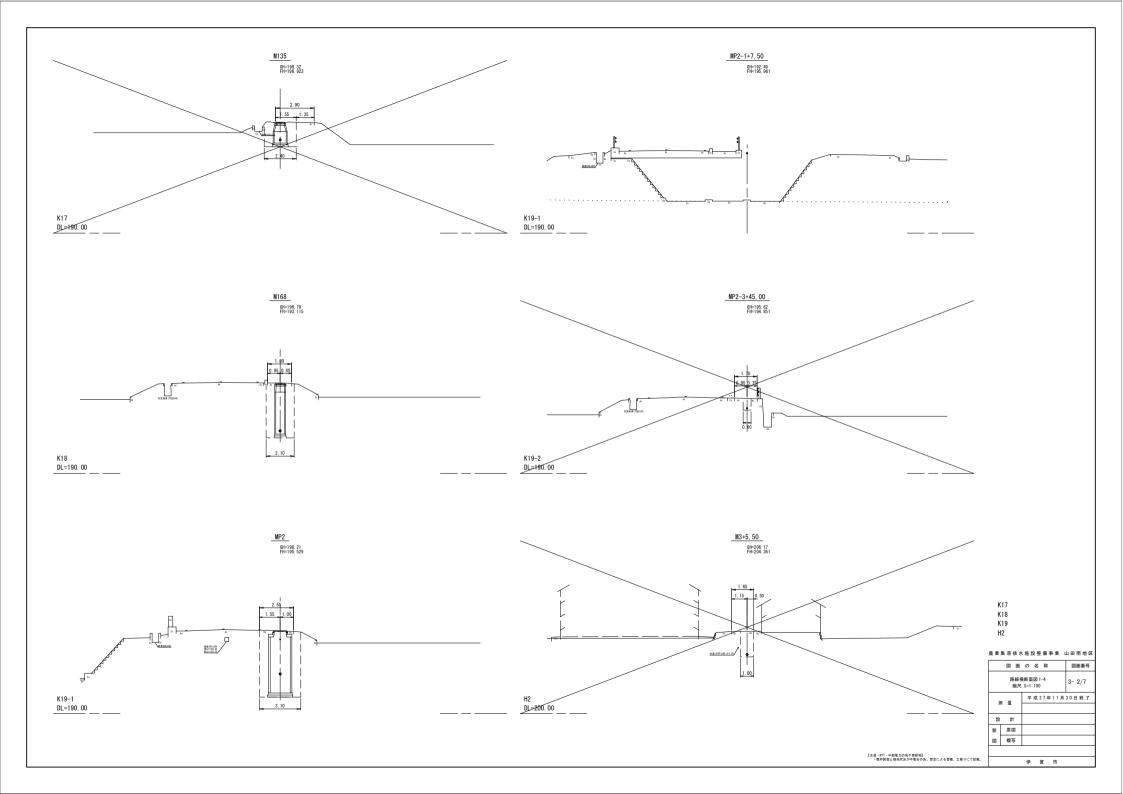


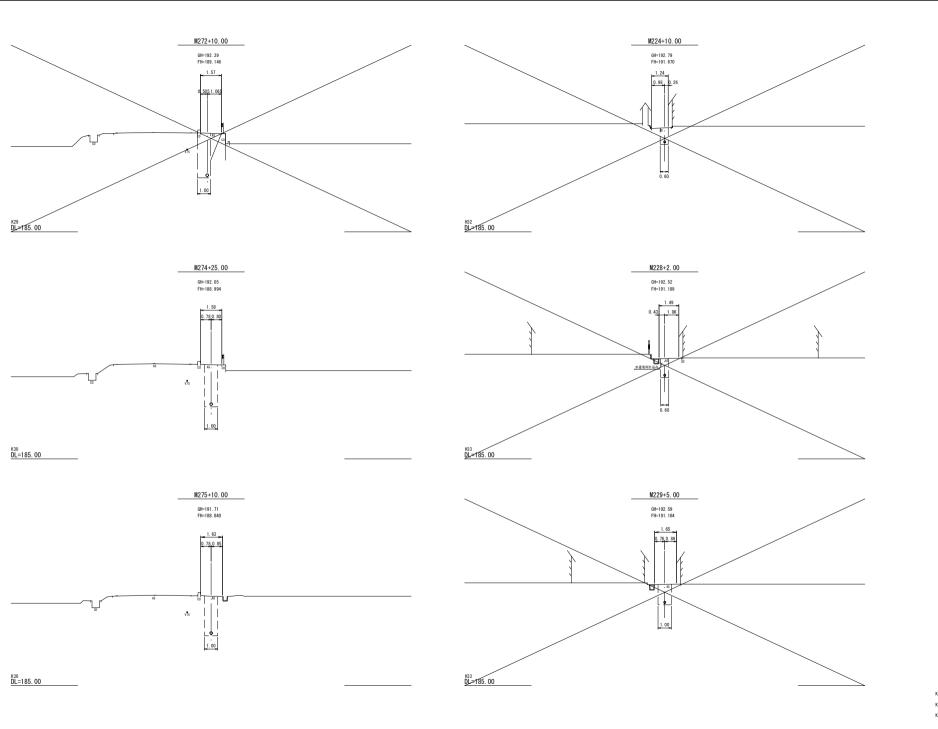










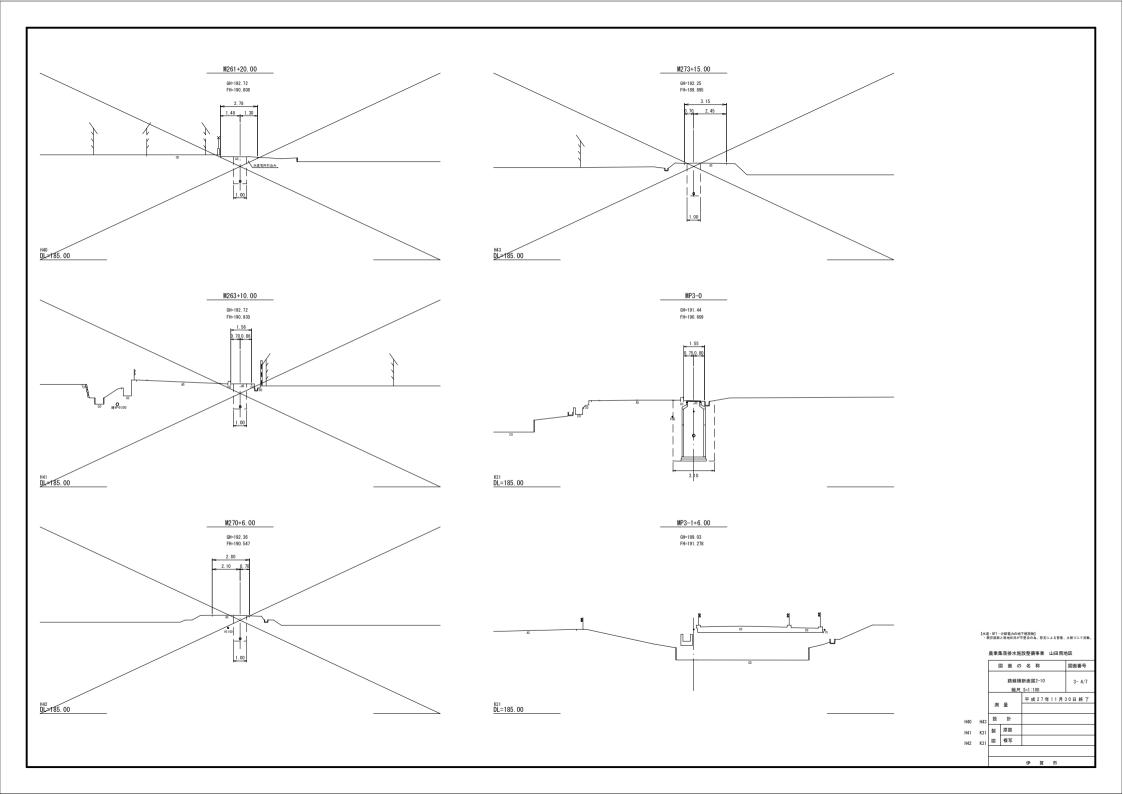


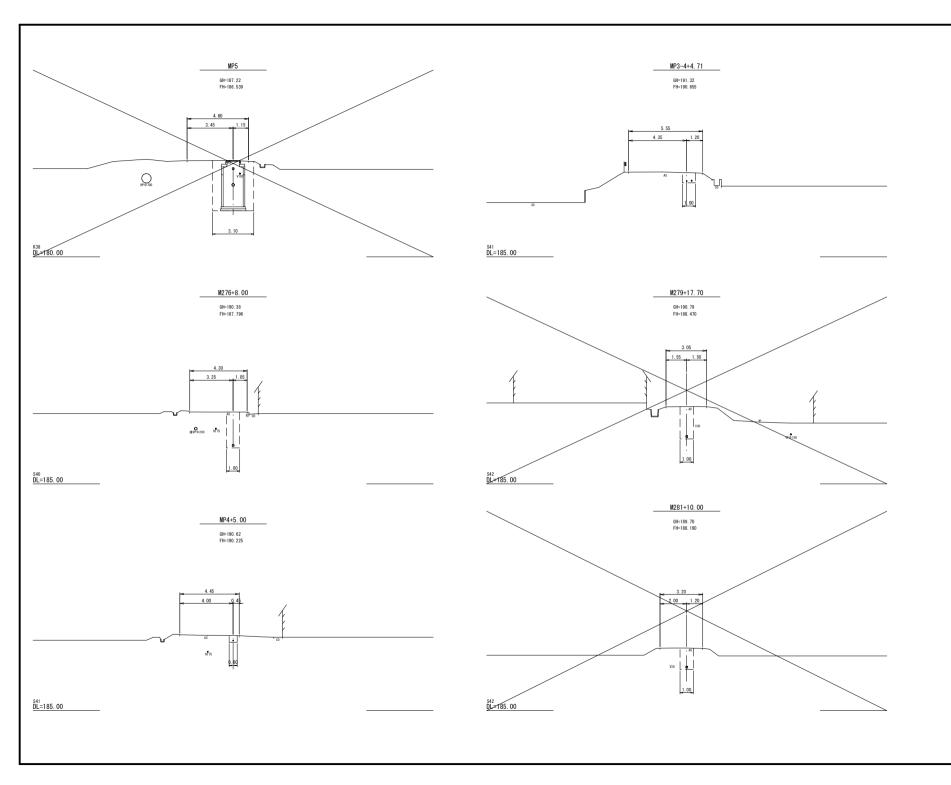
【水道・MTT・中部電力の地下埋胶物】 ・既存図面と現地状況が不整合の為、想定による管理、土被りにて記載。

図面番号

## 農業集落排水施設整備事業 山田南地区 図 面 の 名 称 図面

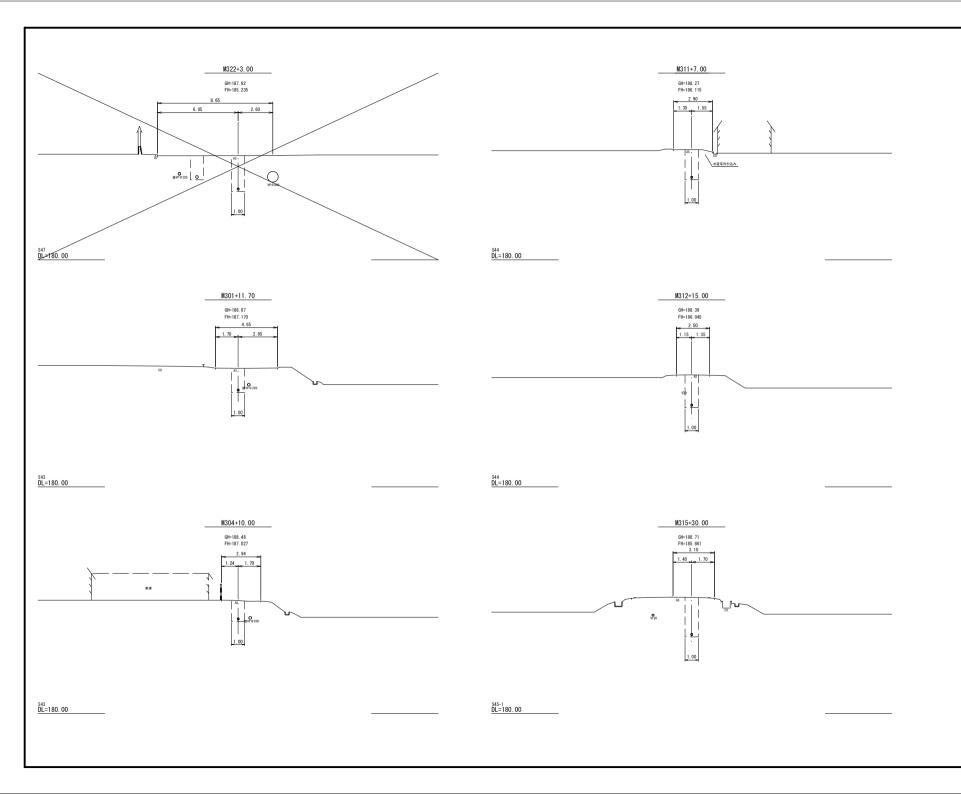
				断面図2-7 S=1:100	3- 3/7	
		測	量	平成27年11月	30日終了	
K29	H32	設	žt			
K30	H33	製	原図			
K30	H33	Ø	複写			





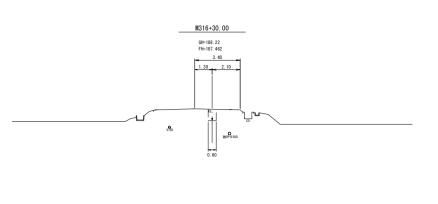
【水道・MT・中部電力の地下埋設物】 ・既存図面と現地状況が不整合の為、想定による管理、土被りにて記載。

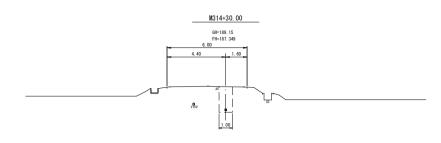
		В	図面の	名	称		図面番号
			路線横縮尺	断面E S=1:			3-5/7
			_	平月	成27年	11月;	30日終了
		測	量				
K38	\$41	設	ž†				
\$40	S42	製	原図				
\$41	S42	図	複写				
				伊	w	市	



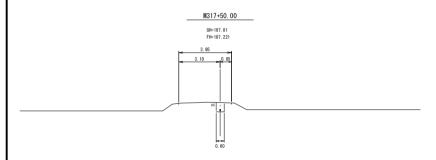
【水道・MTT・中部電力の地下埋設物】 ・既存調画と現地状況が不整合の為、想定による管理、土被りにて記載。

図面の名称 図面番号	
路線模断面図2-15 3-6/7 縮尺 S=1:100	
平成27年11月30日終了	-
S47 S44 to th	
S43 S44 製 原図	
S43 S45 図 複写	

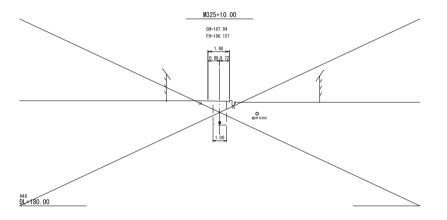




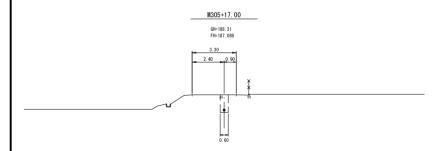
\$45-2 DL=180.00



H47 DL=180.00

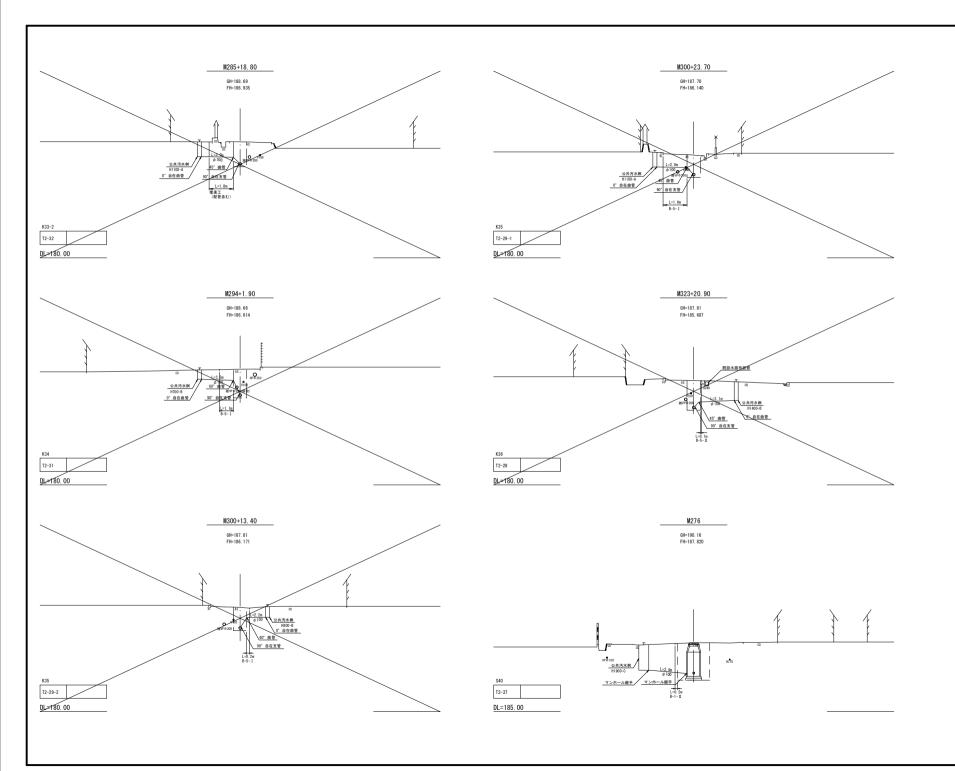


S46-2 DL=180.00



H46 DL=180.00 【水道・MTT・中部電力の地下埋設物】 ・既存回面と現地状況が不整合の為、想定による管理、土被りにて記載。

		8	図 面	Ø	名	称			図面番号
			路線模断面図2-16 縮尺 S=1:100					3-7/7	
		31	-	平月	走 2 7	年	11月;	30日終了	
		/RI	#						
S45	H47	設	21						
S45	H48	製	原図						
H46		図	複写						
					伊	3	ī	市	

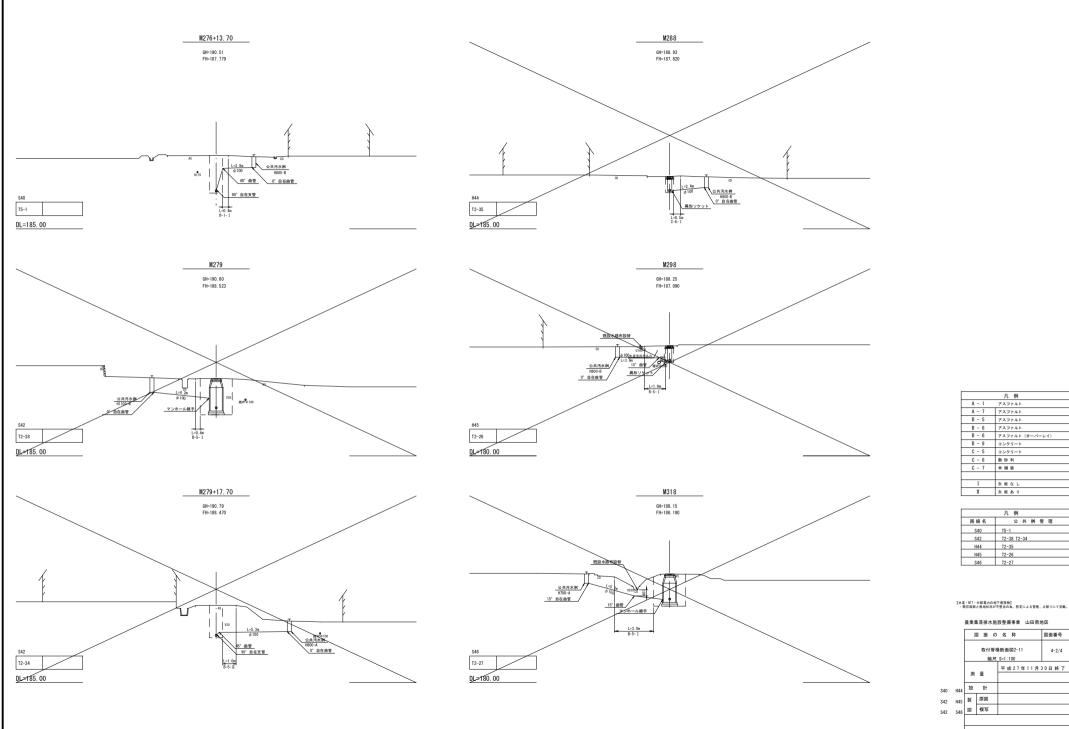


	凡例
A - 1	アスファルト
A - 7	アスファルト
B - 5	アスファルト
B - 6	アスファルト
B - 6	アスファルト (オーバーレイ)
B - 9	コンクリート
C - 5	コンクリート
C - 6	敷砂利
C - 7	未舗装
I	矢板なし
I	失板あり

L		凡 例
L	路線名	公共桝管理
L	K33	T2-32
L	K34	T2-31
L	K35	T2-29-2 T2-29-1
L	K36	T2-28
	\$40	T2-37

【水道・MIT・中部電力の地下機設物】 ・既存調画と現地状況が不整合の為、想定による管理、土被りにて記載。

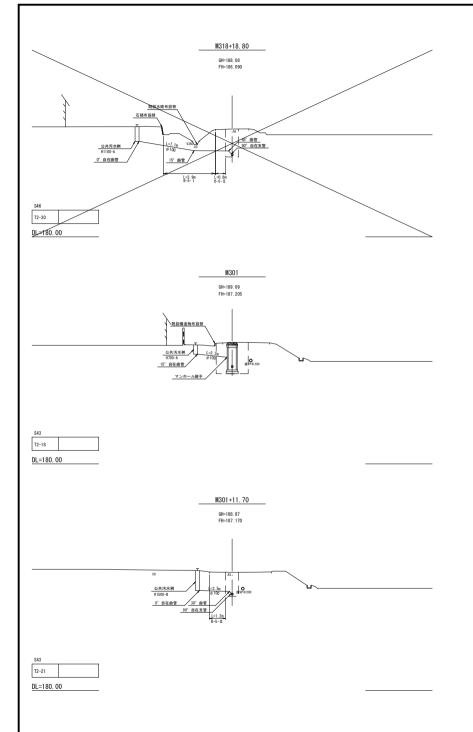
		図 面 の 名 杯 取付管模断面図2-10 縮尺 S=1:100						図面番号		
							10			4-1/4
		平成27年11月			月3	0日終了				
		測	量							
K33	K35	設	ž†							
K34	K36	製	原図							
K35	S40	図	複写							

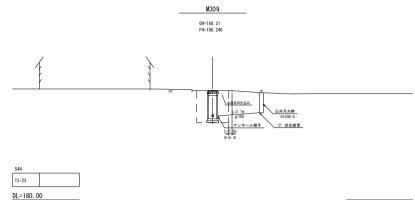


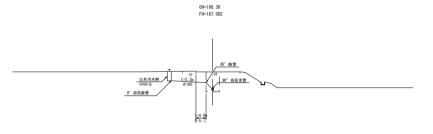
	凡 例
A - 1	アスファルト
A - 7	アスファルト
B - 5	アスファルト
B - 6	アスファルト
B - 6	アスファルト (オーバーレイ)
B - 9	コンクリート
C - 5	コンクリート
C - 6	敷 砂 利
C - 7	未 舗 装
I	矢板なし
П	矢板あり

Γ		凡例
Γ	路線名	公共桝管理
Ι	S40	T5-1
L	S42	T2-38 T2-34
L	H44	T2-35
L	H45	T2-26
ı	S46	T2-27

			国 国 の		凶即音号			
			取付管相線尺	4-2/4				
				平月	27年	11月	30日終了	
		#	量					
\$40	H44	設	ž†					
S42	H45	製	原図					
S42	S46	図	複写					







M304+18.38

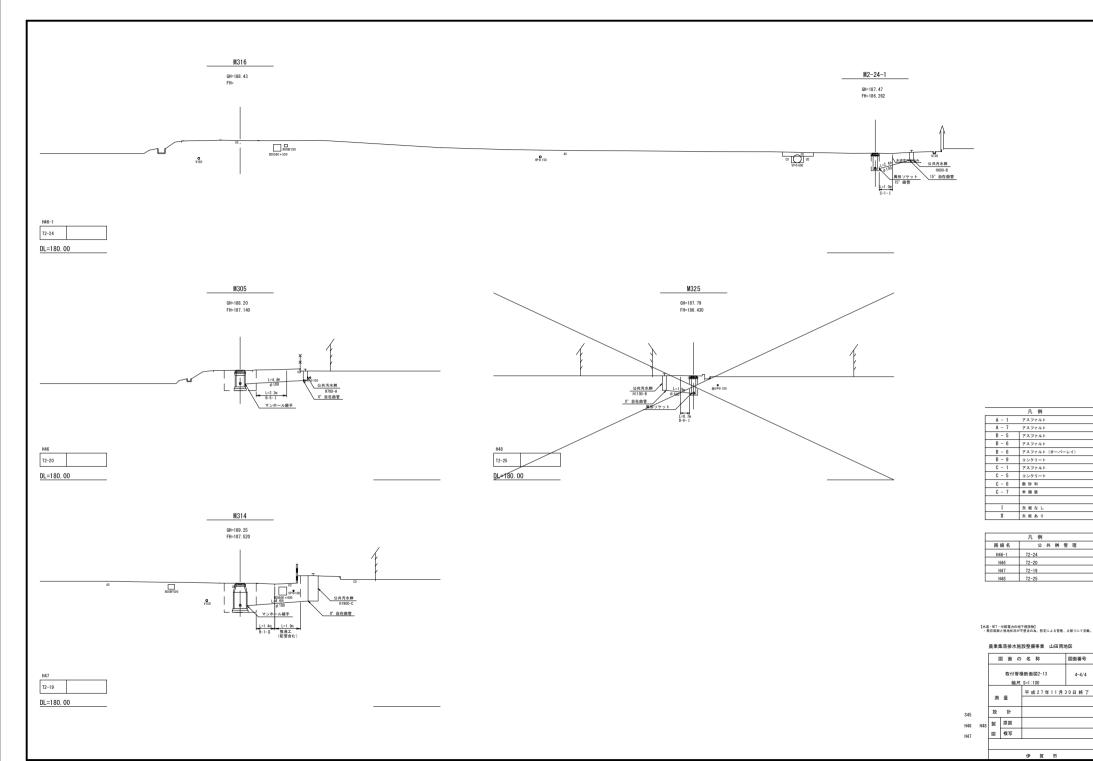
S43	
T2-22	
DI -180 O	n

	凡 例
A - 1	アスファルト
A - 7	アスファルト
B - 5	アスファルト
B - 6	アスファルト
B - 6	アスファルト (オーバーレイ)
B - 9	コンクリート
C - 5	コンクリート
C - 6	敷砂利
C - 7	未 舗 装
I	矢 板 な し
I	矢 板 あ り

	凡 例
路線名	公 共 桝 管 理
S46	T2-30
S43	T2-18 T2-21 T2-22
S44	T2-23

【水道・MT・中部電力の地下埋設物】 ・既存図面と現地状況が不整合の為、想定による管種、土被りにて記載。

		図面の	名	称		図面番号
		取付管存	4-3/4			
		_	平月	<b>炎27</b> 年	11月	30日終了
	測	量				
S46 S44	設	ž†				
S43 S43	製	原図				
\$43	図	複写				
			伊	¥	市	

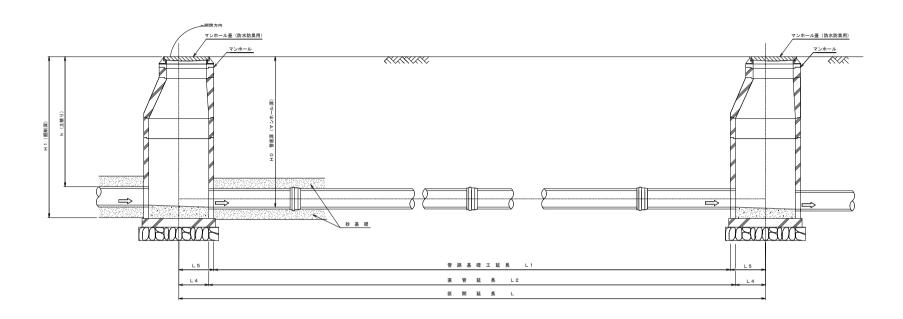


図面番号

4-4/4

# 配管標準図

S=1:20



法	- 衣

·) /A	23.			
番号	名称	L 4	L 5	
1	小口径マンホール	150	190	
2	Y号マンホール	300	375	
3	0号マンホール	3 7 5	450	
4	1号マンホール	4 5 0	5 2 5	
5	2号マンホール	600	700	
6	3号マンホール	750	875	
7	A 1号マンホール	4 5 0	5 2 5	
8	0号レジンマンホール	3 7 5	4 1 5	
9	1号レジンマンホール	450	490	
10	小口径塩ビ人孔	150	159	

寸 法 表

番号	管種・管径	но	H 1	
1	RRVUØ 75	h+ 86	h+189	
2	RRVU Ø 100	h+111	h + 2 1 4	
3	RRVU Ø 150	h+160	h+265	
4	R R V U Ø 2 0 0	h + 2 0 9	h+316	
5	R R V U Ø 2 5 0	h + 2 5 9	h+367	
6	RRVU#300	h+309	h+418	
7	RRVPø 75	h+ 83	h+189	
8	RRVP Ø 100	h + 1 0 7	h + 2 1 4	
9	RRVP Ø 1 2 5	h+133	h + 2 4 0	
10	RRVP Ø 150	h+156	h+265	
11	PE φ 50	h+ 55	h+160	
12	PE φ 75	h+ 83	h+190	
13	PΕ φ100	h+115	h + 2 2 5	
14	PΕ φ150	h+166	h+280	
15	PE	h + 2 3 1	h+350	
16	PΕ φ250	h + 2 9 1	h+415	

単位の表示のないものはmmとする。

管種において、自然流下は、RRVUとし圧送管についてはRRVPとする。

図面の名称 図面番号 配管標準図 網尺 S-1:20 5 - 1/2 測量 平成年月日終了 数計 数 原図 図 複写	及未来用所不能区主属于未 面面刊记						
縮尺 S=1:20		図面	o :	名	称		図面番号
測量 設計 製原図 図 複写							
按計 製原図 図 被写	70		平	成	年	月	日終了
製原図図複写	24	1 11					
図 複写	設	ät					
	製	原図					
伊賀市	Ø	複写					
伊賀市							
			伊	賀	市		

## 掘削標準図

S=1:20

## 素堀り断面 〔土被り H < 1.00 m〕

[砂基礎. 舗装影響幅有りの場合]

## 素堀り断面 〔土被り H < 1.00 m〕

[砂基礎、舗装影響幅無しの場合]

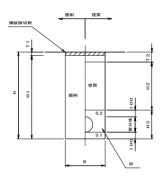
### 素堀り断面 〔土被り H < 1.00 m〕

[コンクリート基礎、舗装影響幅有りの場合]

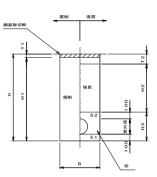
銷装版切断

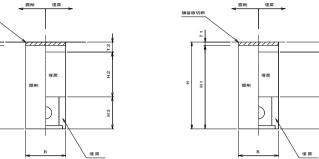
### 素堀り断面 〔土被り H < 1.00m〕

[コンクリート基礎、舗装影響幅無しの場合]



注:掘削は、人力掘削及び機械掘削とする。 上層路盤及び下層路盤は土砂掘削とする。





注:掘削は、人力掘削及び機械掘削とする。 上層路盤及び下層路盤は土砂掘削とする。

	振削	埋戻	_
舗装版切断			-
=		1	J
1	~~~	7777	2 -
		埋戻	ı N
표 표	掘削		
		$\vdash$	-
		ЬL	E
		$P \mid \mathbf{V} \mid V$	Ξ
* *		Ħ	1
		2	\
	Ι.		\

### 管渠寸法表 (砂基礎の場合)

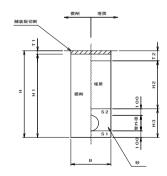
	単位	VU Ø 7 5	VUφ100	V U ø 150	V U φ 2 0 0	VUφ250	V U ф 3 0 0	VU Ø 4 0 0
管外径	m	0.089	0.114	0.165	0.216	0.267	0.318	0.420
管控除量	m³	0.006	0.010	0.021	0.037	0.056	0.079	0.139
нз	m	0. 289	0.314	0.365	0.416	0.467	0.518	0.620

### 管渠寸法表 (コンクリート基礎の場合)

	単位	φ150	φ200	φ250
管外径	m	0.165	0.216	0.267
コンクリート基礎、管 控除量	m	0.190	0. 235	0. 285
нз	m	0.465	0.516	0.567

## 素堀り断面 〔掘削深 H≦1.50m〕

[砂基礎. 舗装影響幅有りの場合]

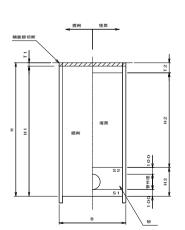


素堀り断面 〔掘削深 H≦1.50m〕

[砂基礎. 舗装影響幅無しの場合]

矢板堀り断面 [掘削深 H>1.50m] [砂基礎、舗装影響幅有りの場合]

矢板堀り断面 [掘削深 H>1.50m] [砂基礎. 舗装影響幅無しの場合]

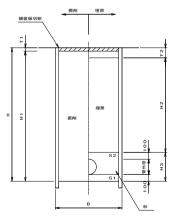


#### 掘削幅寸法表

	_			
道路幅員 据削深H	2. 0m以下	2. 0~3. 0m	3. 0~4. 0m	4. 0m以上
1.50m以下	0.60	0.60	0.60	0.60
2.50m以下	2.3m以下 1.00	1.00	1.00	1.00
3.00m以下		_	1.00	1.00
3. 40m以下		_	1.00	1.00
3.80m以下	_	_	_	1.00
4. 40m以下	_	_	_	4. 4m以下 1.10

銷装版切断

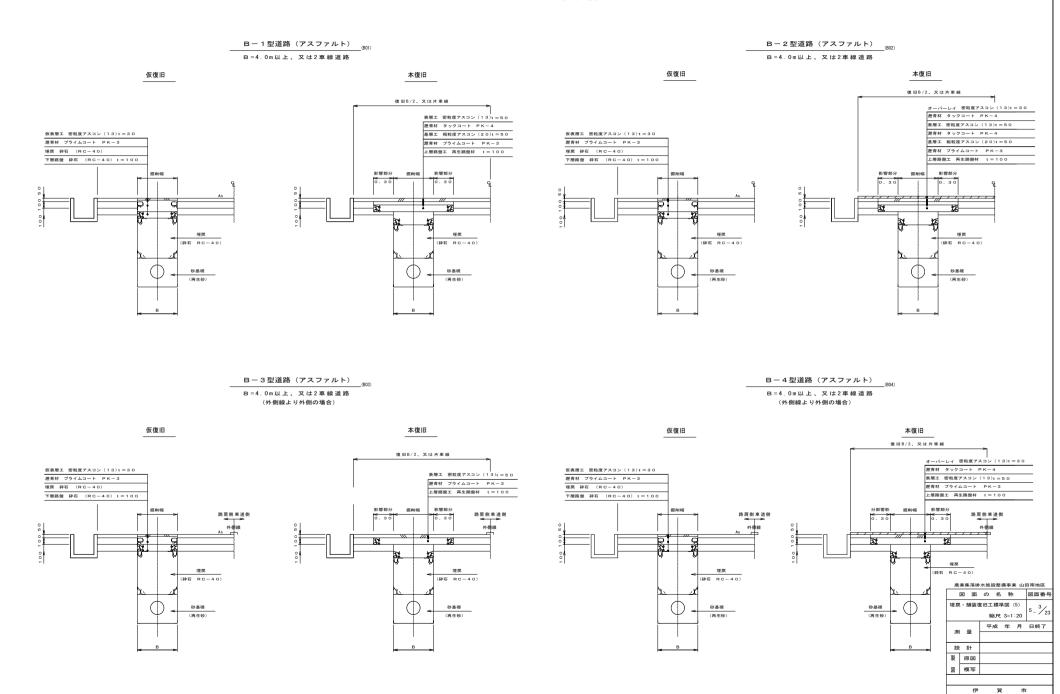
注:掘削は、人力掘削及び機械掘削とする。 上層路盤及び下層路盤は土砂掘削とする。

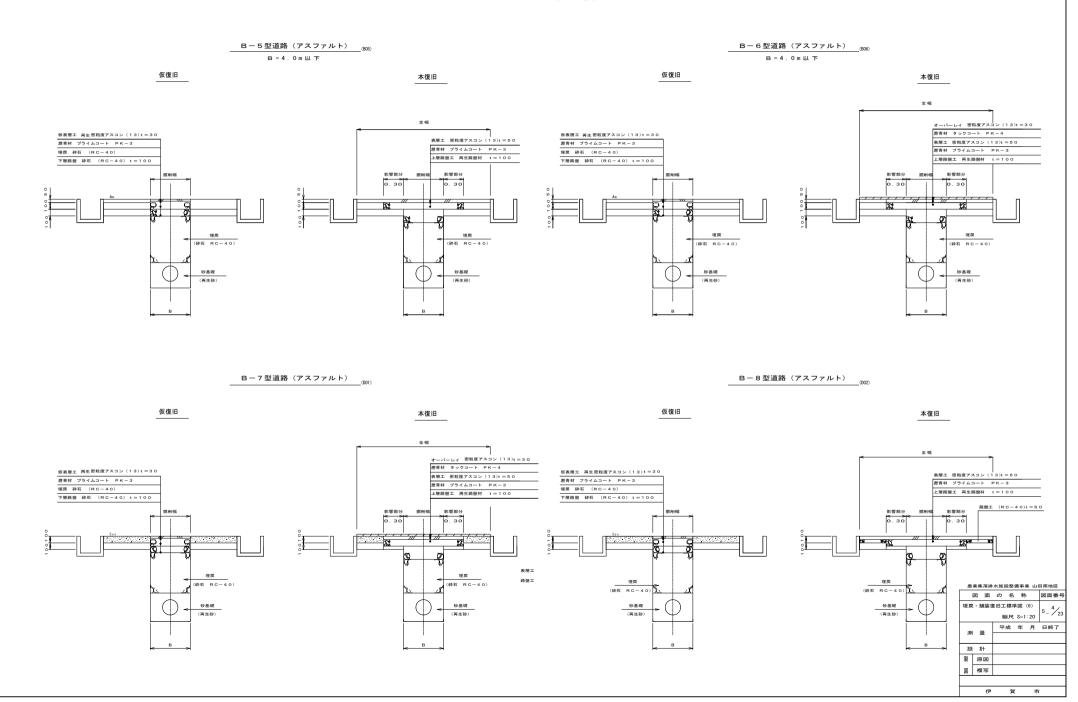


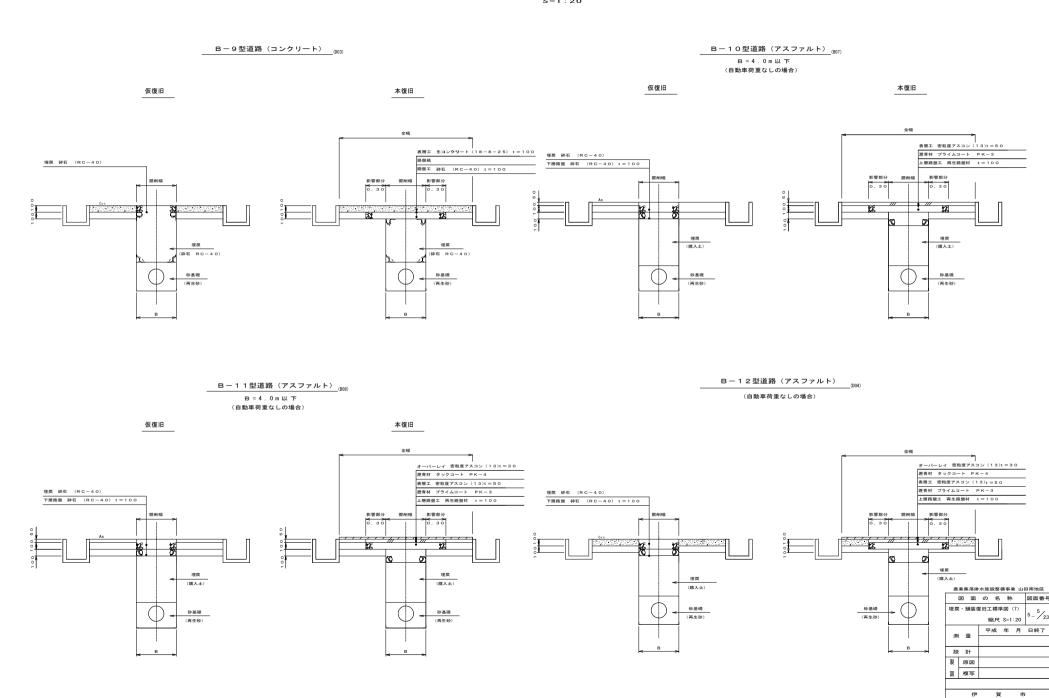
注:掘削は、機械掘削とする。 上層路盤及び下層路盤は土砂掘削とする。

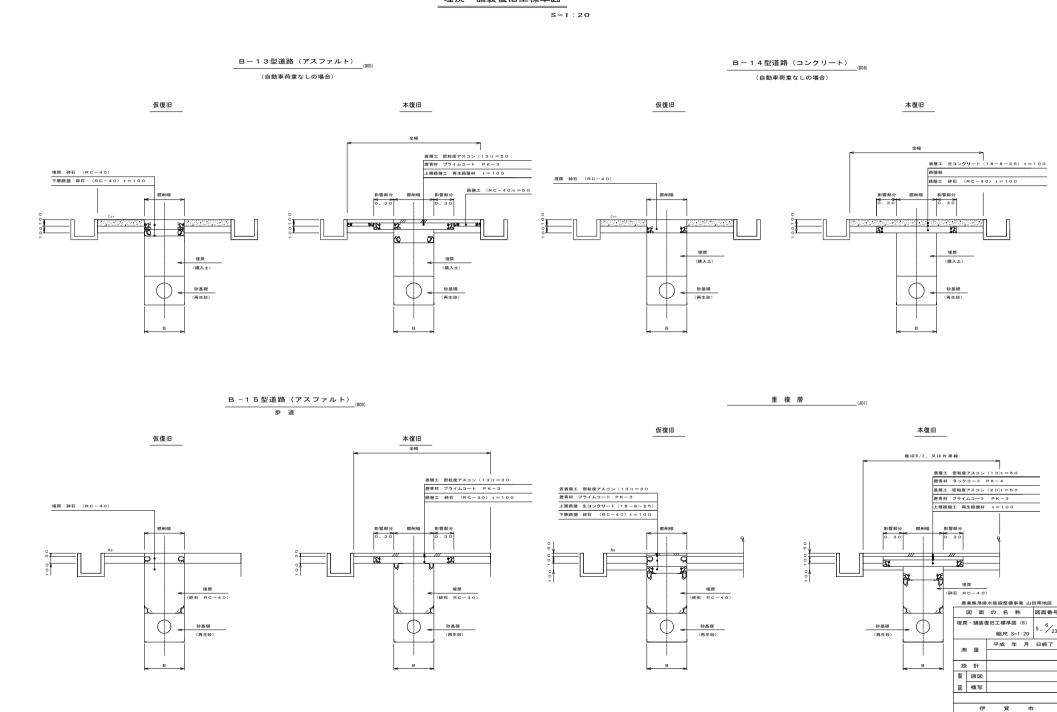
	図面	の名	称		図面番号
	掘削	20	5 _ 2/23		
2mil		平成	年	月	日終了
JA!	-				
19	#1				
製	原図				
20	複写				
	伊	함	7	rh	

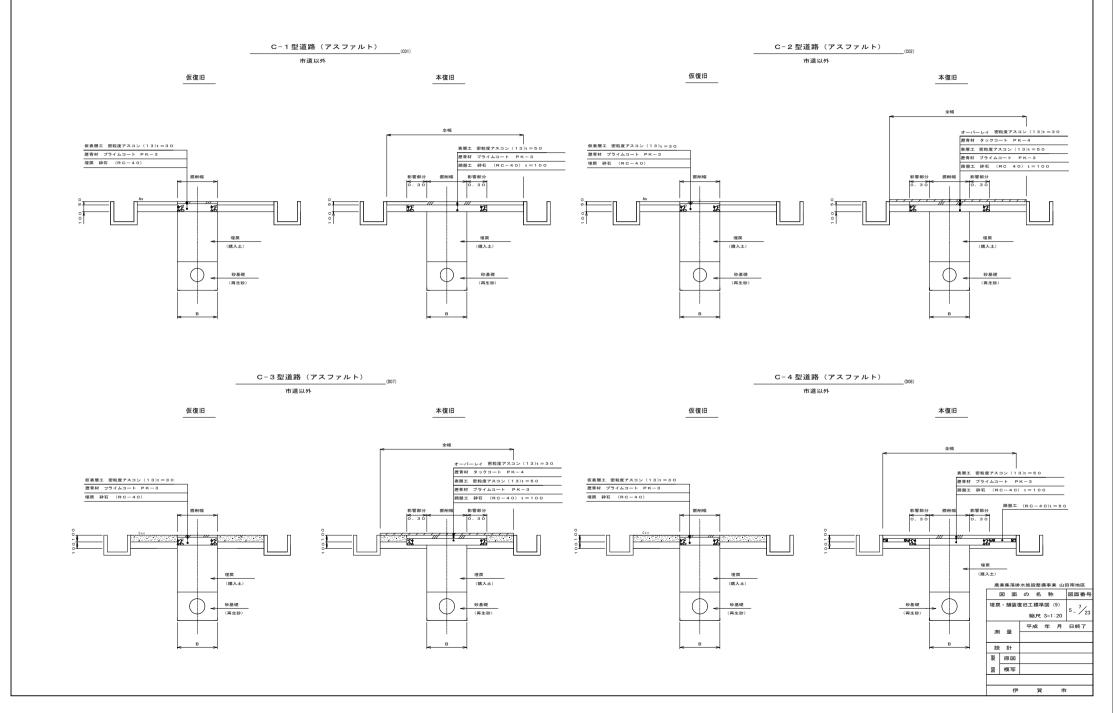
S=1:20









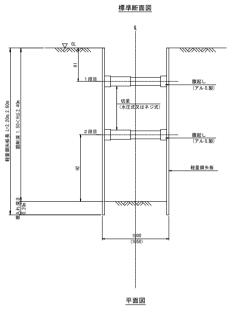


# 仮設土留工標準図

S=1:20

道路幅員B<2.0mの場合





									400	00						
750							250	00	750							
-															=	
	=	$\overline{}$													1.1	=
00						L								L	╛	
000 000 000 000 000 000 000 000 000 00			Ħ				<b> </b>								<del>†    </del>	
			ľ													_
																=
-																_
			1						1			Į.		1		
- 軽量鋼名	モ板								(;	切 梁 水圧式又はネジ式)				<u>腹</u> (アル	起しミ製)	

100m当り

土留工タイプ	据削深	矢		敗	起し材(フ	アルミ製)	切梁材(水	圧式サポート)	切梁位置	
	(H)	規格	矢板長(L)	総重量(t)	規格	段数	数量 (本)	規格	数量 (本)	(m)
A – I	n 1.5 <h≦2.0< td=""><td>軽量鋼矢板 LSP-1型 t=4mm B=250mm 0.0104t/m</td><td>2. 20m</td><td>18. 30</td><td>12 × 7.5cm L=4.0m</td><td>1</td><td>50</td><td>59~90cm</td><td>50</td><td>H1=0. 50</td></h≦2.0<>	軽量鋼矢板 LSP-1型 t=4mm B=250mm 0.0104t/m	2. 20m	18. 30	12 × 7.5cm L=4.0m	1	50	59~90cm	50	H1=0. 50

100m当 5

_										
土留工	掘削深	矢	板 材	†	腹	起し材(フ	アルミ製)	切梁材(ネ	ジ式サポート)	切梁位置 (m)
タイプ	(H)	規格	矢板長(L)	総重量(t)	規格	段数	数量 (本)	規格	数量 (本)	
	m	軽量銅矢板 LSP-1型 t=4mm B=250mm 0.0104t/m	2.60m	21. 63	12×7.5cm L=4.0m	2	100	61~100cm	100	H1=0.50
A-II	2. 0 <h≦2. 4<="" td=""><td>H2=1.00</td></h≦2.>									H2=1.00

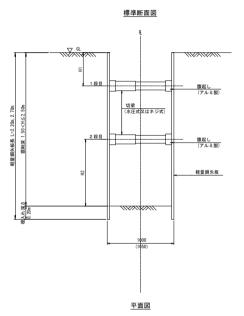
	図	面	Ø	名	称	33	面番号
ďΣ	設土	留コ			1: 20	5_	8/23
泪	HIII.	₽	3	平成	年	月	日終了
/共	=	Ł					
設	設計						
製	原	図	Г				
20	複	写					
仮割	土留	工標	準図	(H2	2707)		
		伊			賀	市	

## 仮設土留工標準図

S=1:20

道路幅員2.0≦B<3.0mの場合





							40	00						
					750		25	00		_	750			
						ľ				ľ				
						l								
-		_	H	l		H				F			⊨	=
	_	_	L.			÷				L			+	_
			П											1
(1050)		Ļ	H			Н				Н		l	Н	
= = = =====			П	 		M				П			П	
			1			Ħ			1	H		-		
			۲			۲				۲			_	<del>-</del>
<u> </u>	=	_	H			ŧ				Ė			+	+
軽量鋼矢	板						(	切 梁 水圧式又はネジ式)				(7	腹起し ルミ製	

#### 100m当り

土留工	掘削深	矢	板材	+	腹	起し材(フ	アルミ製)	切梁材(水	圧式サポート)	切梁位置
タイプ	(H)	規格	矢板長(L)	総重量(t)	規格	段数	数量 (本)	規格	数量 (本)	(m)
B – I		軽量鋼矢板 LSP-1型 t=4mm B=250mm 0.0104t/m	2. 20п	18. 30	12 × 7. 5cm L=4. 0m	1	50	59~90cm	50	H1=0. 50

#### 100m当り

										1001131 7
土留工	掘削深	矢	板材	†	腹	起し材(7	アルミ製)	切梁材(ネ	ジ式サポート)	切梁位置
タイプ	(H)	規格	矢板長(L)	総重量(t)	規格	段数	数量 (本)	規格	数量 (本)	(m)
B-I	2. 0 <h≦2. 5<="" td=""><td>軽量銅矢板 LSP-1型 t=4mm B=250mm 0.0104t/m</td><td>2.70m</td><td>22. 46</td><td>12×7.5cm L=4.0m</td><td>2</td><td>100</td><td>61~100cm</td><td>100</td><td>H1=0.50 H2=1.00</td></h≦2.>	軽量銅矢板 LSP-1型 t=4mm B=250mm 0.0104t/m	2.70m	22. 46	12×7.5cm L=4.0m	2	100	61~100cm	100	H1=0.50 H2=1.00

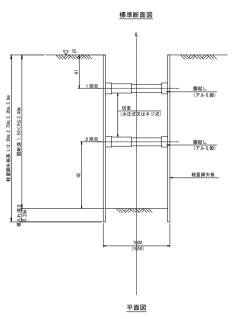
	Ø i	m	o :	8_	称		図面番号
仮	設土	_			(2) 1 : 2		5 - 9/23
		_		÷		_	
281		.	平	砹	年	月	日終了
測	量	-					
設	žt						
製	原	23					
2	複	写					
仮割	土留二	E標	準図	(H	2707)		
		伊		1	W	1	tī

## 仮設土留工標準図

S=1:20

道路幅員3.0≦B<4.0mの場合





			,			40	00						
				750		25	00	 +	750				
								l					
								l					
								١					
-	$\top$	ŧ	'		Ŧ			ŧ			十		
000											Ш	T	
(1050)		Ħ	-			-		 -			-11		
-	+	Η			Ŧ			Ħ			#	士	
					Ī			- Transmission			T	T	
軽量銷失	板					<del>-</del>	切 梁 水圧式又はネジ式)			7	腹起しアルミリ	<u>.</u>	

100m当り

土留工	掘削深	矢	板 材		腹	起し材(フ	アルミ製)	切梁材(水	圧式サポート)	切梁位置
タイプ	(H)	規格	矢板長(L)	総重量(t)	規格	段数	数量 (本)	規格	数量 (本)	(m)
C-I	n 1.5 <h≦2.0< td=""><td>軽量鋼矢板 LSP-1型 t=4mm B=250mm 0.0104t/m</td><td>2. 20m</td><td>18. 30</td><td>12 × 7. 5cm L=4. 0m</td><td>1</td><td>50</td><td>59∼90cm</td><td>50</td><td>H1=0. 50</td></h≦2.0<>	軽量鋼矢板 LSP-1型 t=4mm B=250mm 0.0104t/m	2. 20m	18. 30	12 × 7. 5cm L=4. 0m	1	50	59∼90cm	50	H1=0. 50

										100m当り
土留工	掘削深	矢	板 材	1	腹	起し材(フ	アルミ製)	切梁材(ネ	ジ式サポート)	切梁位置
タイプ	(H)	規格	矢板長(L)	総重量(t)	規格	段数	数量 (本)	規格	数量 (本)	(m)
c-I	2. 0 <h≦2. 5<="" td=""><td>軽量鋼矢板 LSP-1型 t=4mm B=250mm 0.0104t/m</td><td>2.70m</td><td>22. 46</td><td>12×7.5cm L=4.0m</td><td>2</td><td>100</td><td>61~100cm</td><td>100</td><td>H1=0.50 H2=1.00</td></h≦2.>	軽量鋼矢板 LSP-1型 t=4mm B=250mm 0.0104t/m	2.70m	22. 46	12×7.5cm L=4.0m	2	100	61~100cm	100	H1=0.50 H2=1.00
с-ш	2.5 <h≦3.0< td=""><td>軽量銅矢板 LSP-1型 t=4mm B=250mm 0.0104t/m</td><td>3. 20m</td><td>26. 62</td><td>①12×7.5cm L=4.0m ②12×10cm L=4.0m</td><td>2</td><td>100</td><td>61~100cm</td><td>100</td><td>H1=0.50 H2=1.20</td></h≦3.0<>	軽量銅矢板 LSP-1型 t=4mm B=250mm 0.0104t/m	3. 20m	26. 62	①12×7.5cm L=4.0m ②12×10cm L=4.0m	2	100	61~100cm	100	H1=0.50 H2=1.20
c-10	3. 0 <h≦3. 4<="" td=""><td>軽量銅矢板 LSP-1型 t=4mm B=250mm 0.0104t/m</td><td>3.60m</td><td>29. 95</td><td>① 12 × 7.5cm L=4.0m ② 12 × 12cm L=4.0m</td><td>2</td><td>100</td><td>61~100cm</td><td>100</td><td>H1=0.50 H2=1.20</td></h≦3.>	軽量銅矢板 LSP-1型 t=4mm B=250mm 0.0104t/m	3.60m	29. 95	① 12 × 7.5cm L=4.0m ② 12 × 12cm L=4.0m	2	100	61~100cm	100	H1=0.50 H2=1.20

\*腹起し材、①は1段目、②は2段目

á	ŧ	樂	集	落	排	水	施	設	整	備	事	樂	山	田	南	地	区

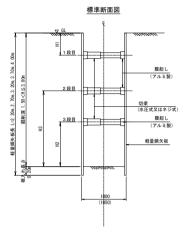
		7 - NO II - 1		10-0
	図面	の 名	称	図面番号
仮	設土留口	E標準図 縮 尺		5_10/23
測	量	平成	年	月 日終了
設	ž†			
製	原図			
20	複写			
仮割	土留工標	準図 (H2	707)	
	伊		Œ	市

# 仮設土留工標準図

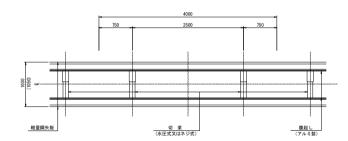
S=1:30

#### 道路幅員4.0<Bmの場合





#### 平面図



#### 100m ¾ ∪

										100m当り
土留工	掘削深		矢 板	材	腹	起し材 (7	アルミ製)	切梁材(水	圧式サポート)	切梁位置
タイプ	(H)	規格	矢板長(L)	総重量(t)	規格	段数	数量(本)	規格	数量(本)	(m)
D-I		軽量鋼矢板 LSP-1型 t=4m B=250mm 0.0104t/m	n 2. 20m	18. 30	12 × 7.5cm L=4.0m	1	50	59~90cm	50	H1=0. 50

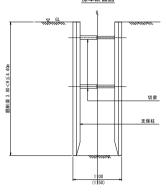
土留工	据削深	矢	板	材	腹起	し材(アル	レミ製)	切梁材(ネ	ジ式サポート)	切梁位置
タイプ	(H)	規格	矢板長(L)	総重量(t)	規格	段数	数量 (本)	規格	数量 (本)	(m)
D-II	2.0 <h≦2.5 <sup="">m</h≦2.5>	軽量鋼矢板 LSP-1型 t=4mm B=250mm 0.0104t/m	2.70m	22. 46	12 × 7. 5cm L=4. 0m	2	100	61~100cm	100	H1=0. 50 H2=1. 00
D-II	2.5 <h≦3.0 <sup="">m</h≦3.0>	軽量銷矢板 LSP-1型 t=4mm B=250mm 0.0104t/m	3. 20m	26 62	① 12 × 7. 5 cm L=4. 0m ② 12 × 10 cm L=4. 0m	2	100	61~100cm	100	H1=0. 50 H2=1. 20
D-IV	3.0 <h≦3.5 <sup="">m</h≦3.5>	軽量鋼矢板 LSP-1型 t=4mm B=250mm 0.0104t/m	3.70m	30 78	(1) 12 × 7. 5 cm L=4. 0m (2) 12 × 12 cm L=4. 0m	2	100	61~100cm	100	H1=0. 50 H2=1. 20
D – V	3.5 <h≦3.8 <sup="">m</h≦3.8>	軽量銷矢板 LSP-1型 t=4mm B=250mm 0.0104t/m	4.00m	33. 28	① 12 × 7. 5 cm L=4. 0m (2) 12 × 10 cm L=4. 0m (3) 12 × 10 cm L=4. 0m	3	150	61~100cm	150	H1=0.50 H2=1.00 H3=1.90

#### \*腹起し材、①は1段目、②は2段目、③は3段目

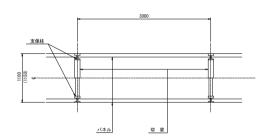
100m当り

## 建込み簡易土留

標準断面図



#### 平面図



#### 100m当

				100113
土留工	据削深	建込み簡	易土留タイプ	平均据削器
タイプ	(H)	据削深	据削幅	十四無刑。
E - I	3.8 <h≦4.0< td=""><td>4. Om</td><td>B=1100mm</td><td>3. 90m</td></h≦4.0<>	4. Om	B=1100mm	3. 90m
E-I	4.0 <h≦4.4< td=""><td>4. 4n</td><td>B=1100mm</td><td>4. 20m</td></h≦4.4<>	4. 4n	B=1100mm	4. 20m

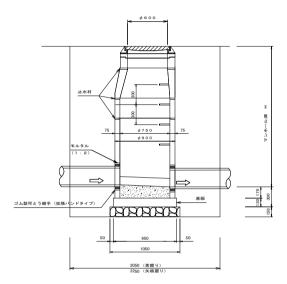
	図	面	Ø	名	称	図面番号
仮	設土	留二	L標	準図	(4)	5 - 11/23
			縮	R	1:30	/ 23
281	-	_	2	平成	年	月 日終了
測	1	E				
設	- 1	H				
製	原	図				
20	複	写				
仮割	土留	工標	準図	(H:	2707)	
		伊			賀	市

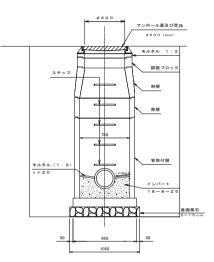
#### O号マンホール標準図

S=1:20

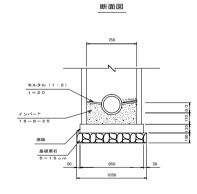
#### O号マンホール標準構造図

例面図 断面図









#### 止 水 材:各部材間隔に入れ水密性が十分期待できる材料

マンホール接合材:管とマンホールの接合部分に入れ水密性及び可とう性が十分期待できる材料

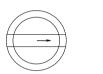
マンホール鉄蓋:雑排水についてはデザインの「のうしゅう」はなしとする

#### 寸法表

Ē		_						-	<i>7</i> D	ック	類							
	管取付壁 直 壁 φ750 φ750							料 壁 φ750×600			調整ブロック			應 版				
•	600	900	1200	1500	1800	300	600	900	1200	1500	1800	150	300	450	50	100	150	130

※ 調整部にはモルタルを充填すること。(無収縮モルタルで、圧縮強度が1.5時間で100kgt/cm<20°C>以上のもの)

#### インバート及び基礎工標準図







部 曲折部及び合流部

始点音

			(#	考)	
		インパート及び基礎工数量表(1ヶ所当り)			
タイプ	名称	計算式	3	X E	
9	無筋コンクリート 18-8-25	1/4×0. 75×3. 14×0. 27-1/4×0. 20×3. 14×1/2×0. 75 =0. 107		0. 11	m²
マンホ	モルタル 1:2 ⑦ 20	1/4×0. 75×3. 14-0. 20×0. 75+3. 14×0. 10×0. 75 =0. 527		0. 5:	m²
ル	基礎栗石 5~15cm	1. 05×1. 05 =1. 103		1. 10	m² O

インパートは2cmの段差をすりつけるものとする。又落差が2cm以上10cmより小さい場合は、落差分だけすりつけるものとする。

※ 流入、流出管の落差が60cm以上となる場合に副管工を設け、落差が10cm以上60cm未満の時は、直落しとし、

単位の表示のないものはmmとする。

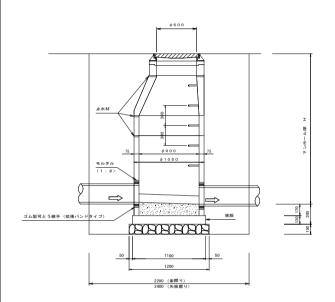
農業算	<b>以落排水施設整</b>	備事業	山田南地區

0号マンホール標準図 総尺 S=1:20     5 - 23       別量     平成年月日終了       設計     10 日終了		図面	の	名	称		図面番号
網尺 S=1:20	-	ラ号マン	ホー	ル標	維度	ZI	5 12/00
測量 数計			縮	尺	S=1	:20	- / 23
設計	101		平	戓	年	月	日終了
	JA!	1					
\$1 recom	19	# # #					
表 原因	휈	原図					
図 複写	図	複写					
伊 賀 市		伊		賀		市	

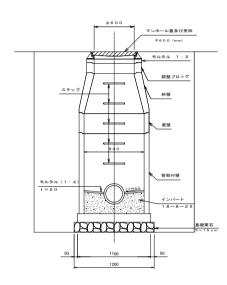
## 1号マンホール標準図

S=1:20

#### 1号マンホール標準構造図

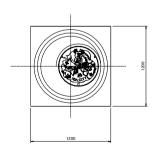


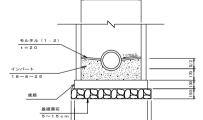
側面図



断面図

平面図



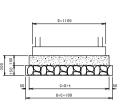


断面図

#### 止 水 材:各部材間隔に入れ水密性が十分期待できる材料

マンホール接合材:管とマンホールの接合部分に入れ水密性及び可とう性が十分期待できる材料 マンホール鉄蓋:雑排水についてはデザインの「のうしゅう」はなしとする

#### 基礎コンクリートエ



基礎コン	基礎コンクリート工数量表 1ヶ所当り												
タイ:	ý	A 쥪	B型	C 퓦	D 퓦	E型	F₹	G 퓦					
		D+0.10	D+0.20	D+0.30	D+0.40	D+0.50	D+0.60	D+0.70					
寸法 C	m	1.20	1.30	1.40	1.50	1.60	1. 70	1.80					
寸法 G	m	1.30	1.40	1.50	1.60	1. 70	1.80	1. 90					
コンクリート	m <sup>3</sup>	0.22	0.25	0.29	0.34	0.38	0.43	0.49					
型枠	m²	0.72	0.78	0.84	0.90	0.96	1.02	1. 08					
基礎業石 t=150	m²	1.69	1.96	2. 25	2.56	2.89	3. 24	3. 61					

※ 基盤整形は、管路で計上

寸法表

,,,,,	_																
	ブロック 類																
管取 付墾							直	壁	φ900			料 壁 00×6	00	調整ブロック			膨脹
600	900	1200	1500	1800	300	600	900	1200	1500	1800	300	450	600	50	100	150	130

※ 調整部にはモルタルを充填すること。(無収縮モルタルで、圧縮強度が1.5時間で100kgt/cm<20°C>以上のもの)

#### インバート及び基礎工標準図







象 部 曲折部及び合流部

始点部

			(#	考)	
		インパート及び基礎工数量表 (1ヶ所当り)			
タイプ	名称	計算式	3	数	2
1号	無筋コンクリート 18-8-25	1/4×0. 90×3. 14×0. 27-1/4×0. 20×3. 14×1/2×0. 90 =0. 157		ο.	m² 16
マンホ	モルタル 1:2 ⑦ 20	1/4×0. 90×3. 14-0. 20×0. 90+3. 14×0. 10×0. 90 =0. 738		ο.	7 4
ルル	基礎栗石 5~15cm	1. 20×1. 20 =1. 440		1.	m²

※ 流入、流出管の落差が60cm以上となる場合に割管工を設け、落差が10cm以上60cm未満の時は、直落しとし、 インバートは3cmの段差をすりつけるものとする。又落差が3cm以上10cmより小さい場合は、落差分だけすりつけるものとする。

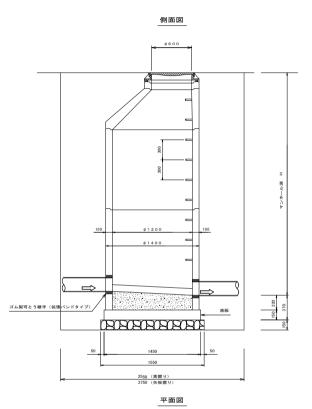
∴ 単位の表示のないものはmmとする。

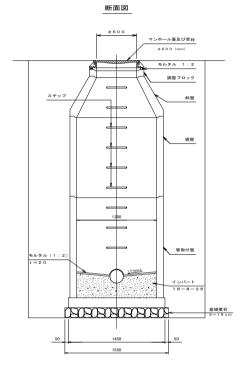
農	業集落排	水施	皮整化	- 本本	۱Щ 3	田南地区
	図面	တ	名	称		図面番号
	1号マン	ホー	ル標	準図		5_13/23
		Ħ	兄	S=1:	20	5 - /23
	量	平	成	年	月	日終了
1,391	-					
設	#†					
휈	原図					
図	複写					
	伊		賀		क	
	伊		賀		तंः	1

## 2号マンホール標準図

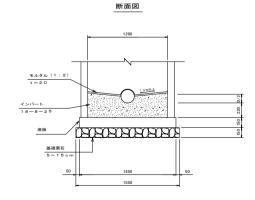
S=1:20

#### 2号マンホール標準構造図





631



#### 止 水 材:各部材間隔に入れ水密性が十分期待できる材料

マンホール接合材: 僧とマンホールの接合部分に入れ水密性及び可とう性が十分期待できる材料 マンホール鉄蓋: 雑排水についてはデザインの「のうしゅう」はなしとする

#### 寸法表

ブ ロ ッ ク 類																			
管取付壁 直 壁 φ1200 σ σ						<u>φ</u> 12	0 0	斜 壁 調整ブロック φ1200Χ600						應 版					
900	1200	1500	1800	2100	2400	600	900	1200	1500	1800	2100	2400	300	450	600	50	100	150	150

※ 調整部にはモルタルを充填すること。 (無収縮モルタルで、圧縮強度が1. 5時間で100kgt/cm<20℃>以上のもの)

#### インバート及び基礎工標準図







! 部 曲折部及び合流部

始 点

		(	9 1	5)	
		インパート及び基礎工数量表 (1ヶ所当り)			
タイプ	名称	計算式	2	t	Ī
2号	無筋コンクリート 18-8-25	1/4×1. 20×3. 14×0. 32-1/4×0. 20×3. 14×1/2×1. 20 =0. 343		э. з	4 m <sup>2</sup>
マンホ	モルタル 1:2 ⑦ 20	1/4×1. 20×3. 14-0. 20×1. 20+3. 14×0. 10×1. 20 =1. 267		1. 2	m² 7
ル	基礎栗石 5~15cm	1. 55×1. 55 =2. 402		2. 4	m²

※ 漁入、漁出管の落差が60cm以上となる場合に副管工を設け、落差が10cm以上60cm未満の時は、直落しとし、 インバートは2cmの段差をすりつけるものとする。又落差が2cm以上10cmより小さい場合は、落差分だけすりつけるものとする。

∴ 単位の表示のないものはmmとする。

農業集落排水施設整備事業	山田南地
	$\overline{}$

	図面	တ	名	称		図面番号
2	号マン	ホー	ル材	5_14/23		
		\$	官尺	S=1	: 20	5 - / 23
2004	量	4	成	年	月	日終了
JA!						
設	#1					
製	原図					
図	複写					
	伊		賀		क	i

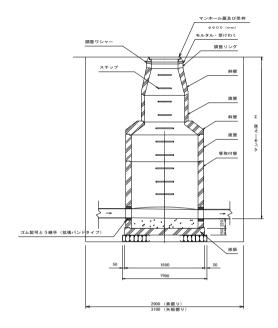
#### 3号マンホール標準図

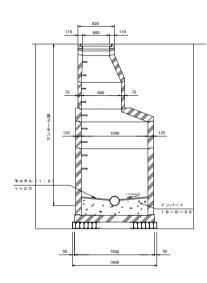
#### 3 号マンホール標準構造図

S=1:30

側面図

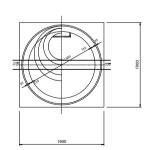
断面図

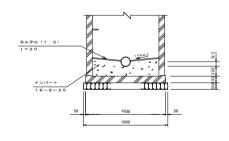




平面図

断面図





寸法表

ブロック 類																
	管取付壁						旌	52	φ	1500			200	調整ブロック		
1200	200 1500 1800 2100 2400					600	900	1200	1500	1800	2100	2400	50	100	150	150

※ 調整部にはモルタルを充填すること。(無収縮モルタルで、圧縮強度が1.5時間で100kgt/cm<20°C>以上のもの)

## インバート及び基礎工標準図







直線部

曲折部及び合流部

始点部

			( p	考)							
	インパート及び基礎工数量表 (1ケ所当り)										
タイプ	名称	計算式	- 1	数	2						
3号	無筋コンクリート 18-8-25	1/4×1. 50×3. 14×0. 32-1/4×0. 20×3. 14×1/2×1. 50 =0. 542		0. 1	m² 5 4						
マンホ	モルタル 1:2 ⑦ 20	1/4×1. 50×3. 14-0. 20×1. 50+3. 14×0. 10×1. 50 =1. 938		1. 1	m² 9 4						
ル	基礎栗石 5~15cm	1. 90×1. 90 =3. 610		3.	m² 6 1						

※ 漁入、漁出管の落差が60cm以上となる場合に割管工を設け、落差が10cm以上60cm未満の時は、直落しとし、 インパートは2cmの段差をすりつけるものとする。又落差が2cm以上10cmより小さい場合は、落差分だけすりつけるものとする。

∴ 単位の表示のないものはmmとする。

農業集落排水施設整備事業 山田南地区

	図	面	တ	名	称		図面番号		
	3 뒤	マン	ホー	ル標	準図		5_15/23		
			:20	3 - / 23					
2mil			4	成	年	月	日終了		
J AN	測量								
設	- 1	H							
홿	肟	[2]							
図	核	写							
		伊		賀		तः	ī		

止 水 材:各部材間隔に入れ水密性が十分期待できる材料 マンホール接合材:僧とマンホールの接合部分に入れ水密性及び可とう性が十分期待できる材料

マンホール鉄蓋:雑排水についてはデザインの「のうしゅう」はなしとする

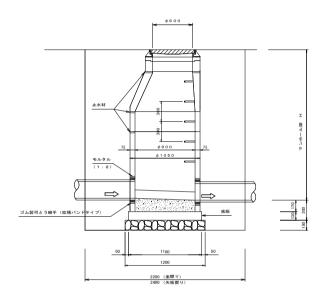
## A 1号マンホール標準図

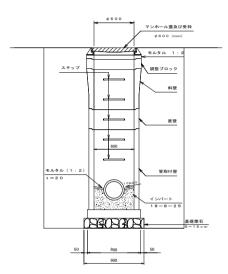
## A 1号マンホール標準構造図

S=1:20

側面図

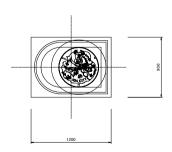
断面図

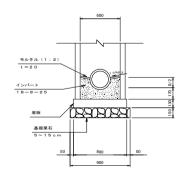




平面図

断面図





#### 止 水 材:各部材間隔に入れ水密性が十分期待できる材料

マンホール接合材:管とマンホールの接合部分に入れ水密性及び可とう性が十分期待できる材料

マンホール鉄蓋:雑排水についてはデザインの「のうしゅう」はなしとする

#### 寸法表

	ブロック類										
管取・ φ 9 0 0	付壁 × 6 0 0	直 壁 \$900×600			斜 壁 ¢900X600X600			調整ブロック			應版
600			600	900	150	450	600	50	100	150	130

※ 調整部にはモルタルを充填すること。(無収縮モルタルで、圧縮強度が1.5時間で100kgt/cm<20℃>以上のもの)

#### インバート及び基礎工標準図







直線部

曲折部及び合流部

始 点 部

			( p	考)	
		インパート及び基礎工数量表 (1ケ所当り)			
タイプ	名称	計算式		数	量
A 1 号	無筋コンクリート 18-8-25	(1/4×0.60×3.14×1/2+0.60)×0.27-1/4×0.15×3.14×1/2+0.90 =0.127		ο.	m <sup>3</sup> 1 3
マンホ	モルタル 1:2 ⑦ 20	(1/4×0.60×3.14×1/2+0.60)-0.15×0.90+3.14×0.075×0.90 =0.577		ο.	5 8
1	基礎栗石 5~15cm	1. 20×0. 90 =1. 080		1.	0 8

※ 流入、流出管の落差が60cm以上となる場合に副管工を設け、落差が10cm以上60cm未満の時は、直落しとし、

インパートは3cmの段差をすりつけるものとする。又落差が3cm以上10cmより小さい場合は、落差分だけすりつけるものとする。

#### ∴ 単位の表示のないものはmmとする。

農業集落排水施設整備事業	山田南地区

	図面	တ	名	称		図面番号					
-	1号マ	ンホー	ール村	準国	3	5 - 16/23					
			宿尺	S=1	:20	5 - /23					
101	量	4	成	年	月	日終了					
7953											
19	#1										
휧	原図										
図	複写										
	伊		賀		तः	i					

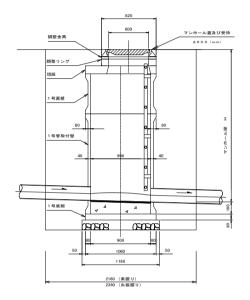
## 1号レジンマンホール標準図

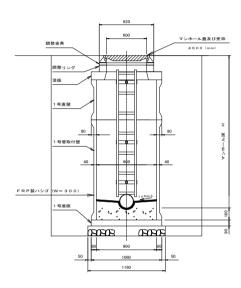
#### 1 号 レ ジ ン マ ン ホ 一 ル 標 準 構 造 図

S=1:20

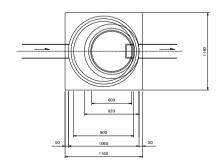
側面図

断面図



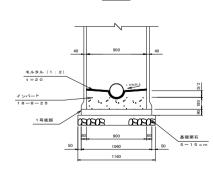


平面図



止 水 材:各部材間隔に入れ水密性が十分期待できる材料 マンホール接合料:智とマンホールの接合部分に入れ水密性及び可とう性が十分期待できる材料 マンホール鉄重:雑排水についてはデザインの「のうしゅう」はなしとする

断面図



#### 寸法表

	ブロック類													
	管取付壁 φ900				直 壁					T <b>Ø M</b> Æ ¢900×600	138	整リン	グ	應版
600	600 900 1200 1500				600	900	1200	1500	80	120	50	100	150	90

#### インバート及び基礎工標準図







直線部

曲折部及び合流部

4/4 de 4/0

			(9 :	考)						
インパート及び基礎工数量表(1ヶ所当り)										
タイプ	名称	計算式	8	a	2					
1 号	無筋コンクリート 18-8-25	1/4×0. 90×3. 14×0. 28-1/4×0. 20×3. 14×1/2×0. 90 =0. 164		o. ·	m <sup>2</sup> 16					
ホールン	モルタル 1:2 t=20	1/4×0. 90×3. 14-0. 20×0. 90+3. 14×0. 10×0. 90 =0. 738		o. :	7 4					
マン	基礎栗石 5~15cm	1. 16×1. 16 =1. 346		1. 3	m²					

※ 流入、流出管の落差が60cm以上となる場合に耐管工を設け、落差が10cm以上60cm未満の時は、直落しとし、 インバートは2cmの段差をすりつけるものとする。又落差が2cm以上10cmよりかさい場合は、落差分だけすりつけるものとする。

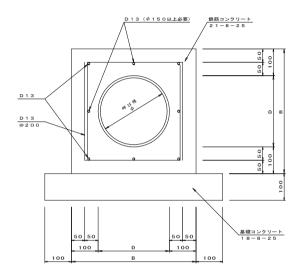
単位の表示のないものはmmとする。

農業;	<b>東落排</b>	水施	<b>设整</b> 值	半半	Щ	日南地区
図	面	တ	名	称		図面番
1号レ	ジン	マン፣	トール	標準	2	17

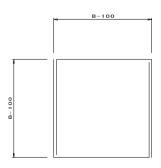
		0)	名	49		凶四番号				
1.5	・ トレジン			ル標 S=1		5_17/23				
		. 20								
測	=	<del>ग</del>	成	年	月	日終了				
JA!										
19	#1									
製	原図									
図	複写									
	伊		賀	ľ	市	ī				

## コンクリート防護エ

S = 1:5



# 鉄筋組立図



#### コンクリート防護工数量表 (10m当り)

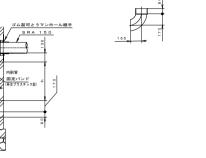
管 種 V P. V U									SU	ıs					
寸	呼び径	φ	50	75	100	125	150	200	250	50	80	100	125	150	200
	外径 D	mm	60	89	114	140	165	216	267	60.5	89. 1	114.3	139.8	165. 2	216.3
法	В	mm	260	289	314	340	365	416	467	260.5	289. 1	314.3	339.8	365.2	416.3
	ドコンクリート 1-8-25	m³	0.65	0.77	0.88	1.00	1.12	1.36	1.62	0.65	0. 77	0.89	1.00	1. 12	1.37
	型枠	m²	5. 20	5. 78	6. 28	6.80	7. 30	8.32	9.34	5. 21	5. 78	6. 29	6.80	7. 30	8.33
	鉄 筋 D13	t	0.127	0.136	0.143	0.151	0.159	0. 174	0.189	0. 128	0.136	0.144	0. 151	0.159	0. 174
	を 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 10	m³	0.46	0.49	0. 51	0.54	0.57	0.62	0.67	0.46	0.49	0.51	0.54	0.57	0.62
ı	司上型枠	m²	2.00	2.00	2. 00	2. 00	2.00	2.00	2.00	2.00	2. 00	2.00	2.00	2.00	2.00
	基面整正	m²	4.60	4.89	5. 14	5. 40	5.65	6.16	6.67	4. 61	4. 89	5.14	5.40	5. 65	6.16

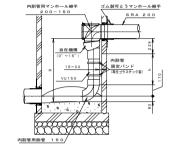
	図面	တ	名	称		図面番号
_	ンクリー	- ト防	護工	工法	<b>3</b>	5_18/23
		5 - /23				
2mil	测量		成	年	月	日終了
JA!						
設	#1					
휧	原図					
図	複写					
	伊		賀		rt	ī

## 副管取付工 (内副管)

内副管用曲管詳細図

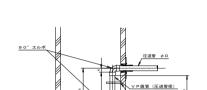
90ST 150



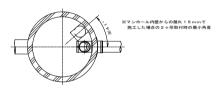


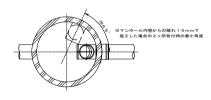
\$\phi 200-150\$

600<Hの時



圧送放流部詳細図





å 6	規格	81 9	単位
VP直管	φD	H - 4 × 2	
90" エルボ	φD		個
固定バンド	φD	2	個

#### 600<日の時

å 6	規 格	数量	単位
内副管用継手	φ150×150	1	個
Vu直管	φ150	H-0.38	п
90"曲管	φ150	1	個
固定パンド	φ150	<b>*</b> 1	個

内副管用曲管 150

※直管部分1m以下の場合に適用し標準とする。 ただし、それ以上の場合は1m毎に1箇所程度考慮する。

## 通200-150

#### 600<日の時

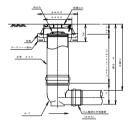
8 6	規格	数量	単位
内副管用継手	φ200×150	1	個
∨∪直管	φ150	H-0.48	-
90"曲管	φ150	1	68
固定パンド	φ150	<b>※</b> 1	68

※直管部分1m以下の場合に適用し標準とする。 ただし、それ以上の場合は1m毎に1箇所程度考慮する。

	図面	の名	粉	i	図面番号						
副	副管取付工工法図 5-19/23										
測	量	平成	年	月	日終了						
19	#H										
製	原図										
図	複写										
	/#	- tu	, –	78							

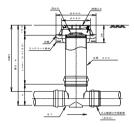
#### 塩ビ製小口径マンホール設置標準図 (その1)





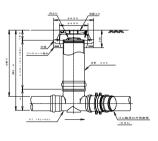




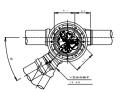


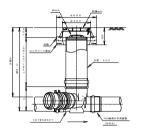
225	4 5	и -	F		8.6	所用血	
W APTE	16 6	E.,	4.		V型自在なし	<b>V型自在使用</b>	L (
	87 180-300	180	280	3 6 0	0" ±1"	0'-18'	
	181 180-200	190	200	360	10" +1"	18' -30'	
	301 100-300	190	200	360	30" ±1"	30'-45'	
Ø180	491 199-309	190	200	3 6 0	4.0" +1"	45'-60'	H - 0
	40L 180-300	190	200	360	60" ±1"	60'-75'	
	781 180-300	190	200	3 6 0	78" ±1"	78'-90'	
	80L 180-300	190	200	3 6 0	80" ±1"	$(0.0^{\circ} - 1.0.8^{\circ})$	
	87 200-200	180	200	410	0" ±1"	0'-18'	
	181 200-300	200	200	410	1.0" ±1"	18' -30'	
	301 200-300	200	200	410	30" ±1"	30'-45'	
9200	411 201-101	200	200	410	49" +1"	45'-60'	H - 0
	40L 203-303	200	290	410	60" ±1"	60'-75'	
	781 200-300	200	200	410	75" ±1"	78'-90'	
	80L 200-300	200	200	610	80° ±1°	$(0.0^{\circ} - 1.0.0^{\circ})$	_
	BT 280-300	190	350	460	0" ±1"	0'-15'	
	181 280-300	210	360	4 6 0	1.0" + 1"	18'-30'	
	301 200-300	210	360	460	30" ±1"	30'-45'	
#2 B O	611 211-111	210	360	4 6 0	45" +1"	45'-60'	н- о
	4 0 L 2 S S - 3 C S	210	360	4 6 0	80" ±1"	80'-78'	
	711 210-200	210	360	4 6 0	75" ±1"	75'-90'	
	80L 280-300	210	360	460	90" +1"	(90" -108")	



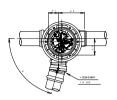


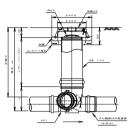
# 合流点(45Y, 60Y)





## 合流点(9 O Y)

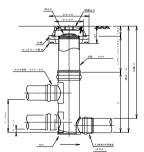




会流水	合造点											
121-0		4 >	n -	8 1	角度 (4)	<b>所用立管</b> :						
WATE	H 9	£ ,	. i.	ь,	h	ъ.	V型自在なし	V型自在使用	L(a)			
6180	487 180-200	200	270	270	360	11	49" +1"	30'-60'	H-0.41			
	90Y 180-300	320	160	210	360	11	80° ±1°	78' -80' (-108')	H-0.41			
0200	487 200-200	2 00	290	210	410	11	80" 41"	30, -80,	н-о.ве			
	80Y 200-300	320	160	220	410	11	49" +1"	78' -80' (-108')	H-0.26			

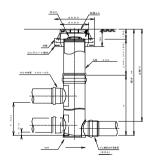
## マルチ





=		45 -				8035			
2276	, , ,	_	外用反音会	長り用型	<b>東</b> 大洋型	居由为攻			
	R5 49	L 1	L 2	h	L (m)	h min	h mes	(#)	
φ1B0	WH 180-300	210	310	910	H-1.080	8.0	820	0'-00' (05%5200)	
\$200	WH 200-300	210	340	1040	H-1.180	8.0	630	0'-76' (05%5288)	

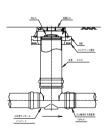
マルチ



***	4 5 11	- F			所用女世長	長小用業	最大非世	易命为女
224	16 9	L 1	L2	h	L (m)	h min	h ====	(#)
	WHH 150-200XS. 6			600	H-780	8.0	210	
	WHH 180-300X0. 8	7		H00	H-950	8.0	410	i .
	WHH 150-200X1.0	7		1000	H-1, 180	80	610	
4110	WHH 150-200X1. 2	210		1200	H-1, 350	8.0	810	0'-00' (05+52
	WHH 180-300X1. 4	7		1400	H-1, 880	8.0	1.010	(190×8840080184)
	WHH 150-200X1. 6	7		1600	H-1, 780	8.0	1.210	
	WHH 180-300X1. 8	7		1800	H-1, 950	80	1.410	
	WHH 180-200X2 0	7		2000	H-2, 150	80	1.610	

***	4 5 11	- F			所用血管長	長の保証	表大用意	展業外文
284	15 - 9	L 1	LZ	h	i. (m)	h min	h mas	(8)
	MH K 202-300 x 0. 6		340	600	H-750	8.0	190	
	MH H 200-200 K B	1		800	H-950	8.0	390	
	MH H 200-300 t 1. 0	210		1000	H-1, 180	80	890	1
4200	MH H 200-300 t 1. 2			1200	H-1, 350	8.0	790	1
	MH H 200-200 x 1. 4			1400	H-1, 880	8.0		
	MHH 200-20011. 6			1600	H-1, 780	8.0	1,100	
	MHH 200-300×1. 8			1800	H-1, 880	8.0	1.390	
	MHH 202-35012. 0	1		2000	H-2.110	8.0	1.290	

#### 勾配: 0‰~87‰の場合

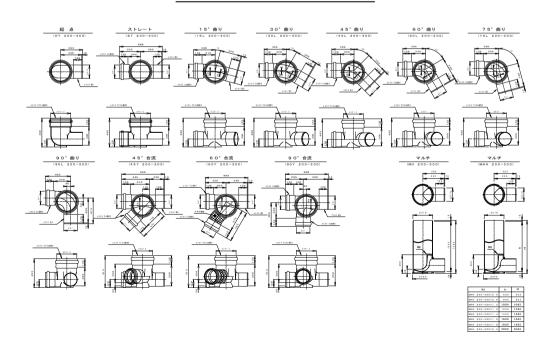


農業算	<b>以落排水施設整</b>	備事業	山田南地區

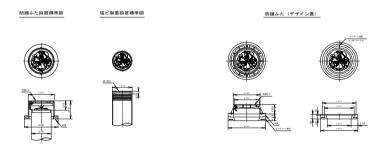
	図面	o o	名 粒	ř.	図面番号				
	参考図(1) 縮尺 S=1:20 5- <sup>20</sup> / <sub>23</sub>								
測	量	平成	年	月	日終了				
/A:									
設	#1								
製	原図								
図	複写								
	塩ビ製小口径マンホール								
	/20.		zhan .	-					

# 

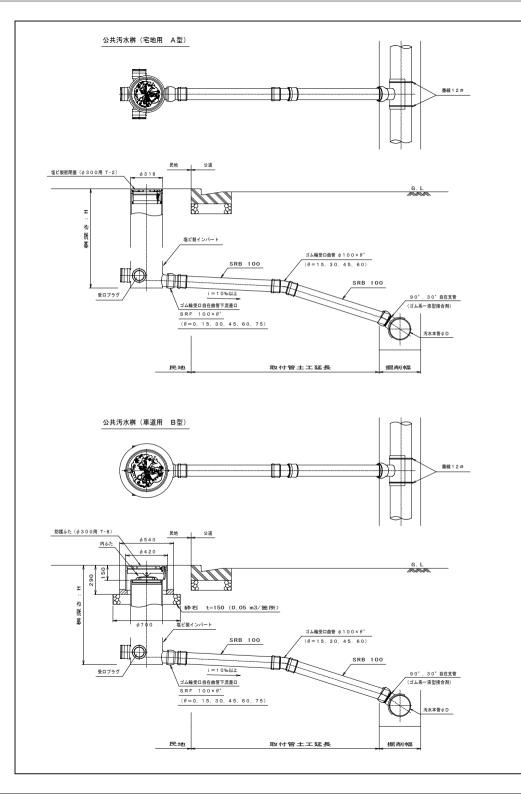


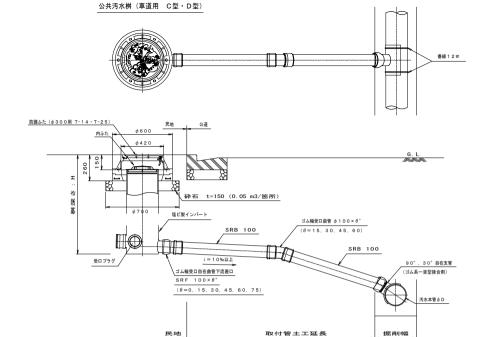


#### 塩ビ製小口径マンホール防護ふた及び蓋設置標準図



農	業集落排	水施設	整備	事業	με	日南地区
	図面	Ø	名	称		図面番号
	参考	_		) S=1:	20	5_21/23
測	量	平月	戊 :	年	月	日終了
設	#1					
홿	原図					
図 複写						
	塩ビ	製小口	1径:	マン	<b>†</b> -	ル
	伊		賀		市	





- 注) 1. 公共汚水樹は、塩ビ製小口径公共汚水桝φ300を使用し、本管との接着部は、 所定の接合剤で行うものとする。
  - 2. 取付管はφ100を標準とするが、処理対象人員が125人以上の場合は、取付管をφ 150とし、公共汚水解も150用インパートを使用する。
  - 3. 公共汚水桝タイプ。は宅地用と車道用に分類するものとし、以下に示すように表示する。
    - ・A型---宅地用で荷重のかからない所とし、塩ビ製蓋T-2を使用する。
  - ・R型===を応用で何里のかからない所とし、塩と吸蓋!=2を使用する。
    ・B型===一般の宅地で車の乗り入れ荷重がかる所とし、保護鉄蓋!=8を使用する。
  - ・C型---工場等で車の乗り入れ「荷重がかかる所とし、保護鉄蓋T-14を使用する。
  - ・U型ーー工場等で単の乗り入れ「何重かかかる所とし、保護鉄蓋1-14を使用する。
    ・D型ーー工場等で車の乗り入れ「荷重がかかる所とし、保護鉄蓋T-25を使用する。
  - 4. 処理対象人員が、125人以上の公共汚水桝タイプは、塩ビ製インパートが150用であるため、形式にダッシュを付けて表示する。
  - 5. 桝深 H>1. 50mとなる場合は、0号又はY号組立人孔を使用する。

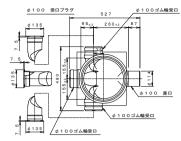
	図面	တ	名	称		図面番号
	参 考	_		) S=1	: 20	5_22/23
2mil	-	平月	戊	年	月	日終了
J AN						
設	#1					
製	原図					
図	複写					
塩	ご製公共	汚水桝	及び	取付	管布	設標準図
	伊		賀		市	ī

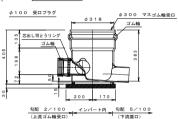
#### 塩ビ製インバート 詳細図

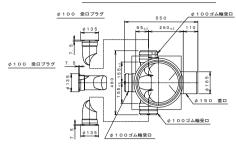
(4100 3方向流入 受口ブラグ付)

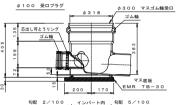
#### 下流差口(φ100)タイプ

#### 下流差口(φ150)タイプ









| 勾配 2/100 | インバート内 | 勾配 5/100 | (上流ゴム輪受口) | (下流差口)

公共汚水桝土工

平均公共污水桝土工延長

1000

取付管土工延長

#### 塩ビ製蓋 (T-2)

φ100 受口ブラグ

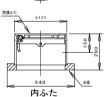




防護ふた (T-14・T-25)

#### 防護ふた (T-8)





# 宅地内公共汚水桝土工算定式

(T-2) (T-8) (T-14) (T-25) V=1.00×0.60×(H+0.10)

(T-2)  $V = (1. \ 0.0 \times 0. \ 6.0 - \pi / 4 \times 0. \ 3.18) \times (H - 0. \ 2.14)$ (T - 8) $V = (T-2) \pm (\pi/4 \times (0.420^{\circ} - 0.318^{\circ}) \times 0.29)$   $(T-14 \cdot T-25)$  $V = (T-2) \pm (\pi/4 \times (0.420^2 - 0.318^2) \times 0.26)$ 

#### 砂基礎

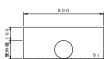
(S1)  $V = 1 \,. \quad 0 \,\, 0 \,\times\, 0 \,\,. \quad 6 \,\, 0 \,\times\, 0 \,. \quad 1 \,\, 0 = 0 \,\,. \quad 0 \,\, 6 \,\, m^{\alpha}$ 

 $V = \stackrel{\cdot}{(1. \ 0.0 \times 0. \ 6.0 - \pi / 4 \times 0. \ 3.1.8^2)} \times 0. \ 2.1.4 - 0. \ 5.5 \times \pi / 4 \times 0. \ 1.1.4^2 = 0. \ 1.1.m^3$ 

#### 取付管基礎標準断面図

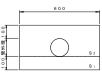
ø295

(\$305)



本体(塩ビ)

# (H<1. 50) S=1:10



保護コンクリート

(H≦1.5 [塩ビ蓋])	
$V = (1.00 \times 0.60 - \pi/4 \times 0.318^{2}) \times 0.10 = 0.05$	i m²
(H≦1.5 [防護ふた])	
$V = (1. 00 \times 0. 60 - \pi / 4 \times 0. 42^{2}) \times 0. 10 = 0. 05 n$	nº

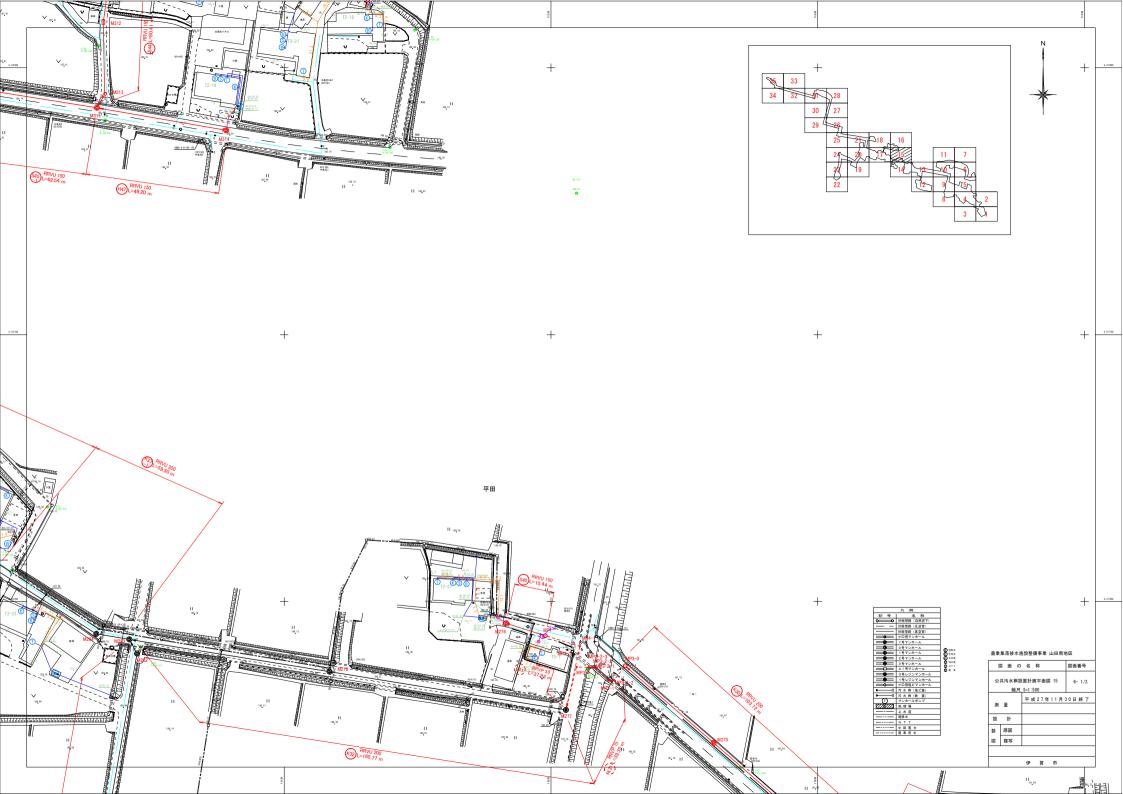
 $V = (2. 25 \times 2. 25 - \pi / 4 \times 0. 65^{2}) \times 0. 10 = 0. 47 \text{ m}^{3}$ 

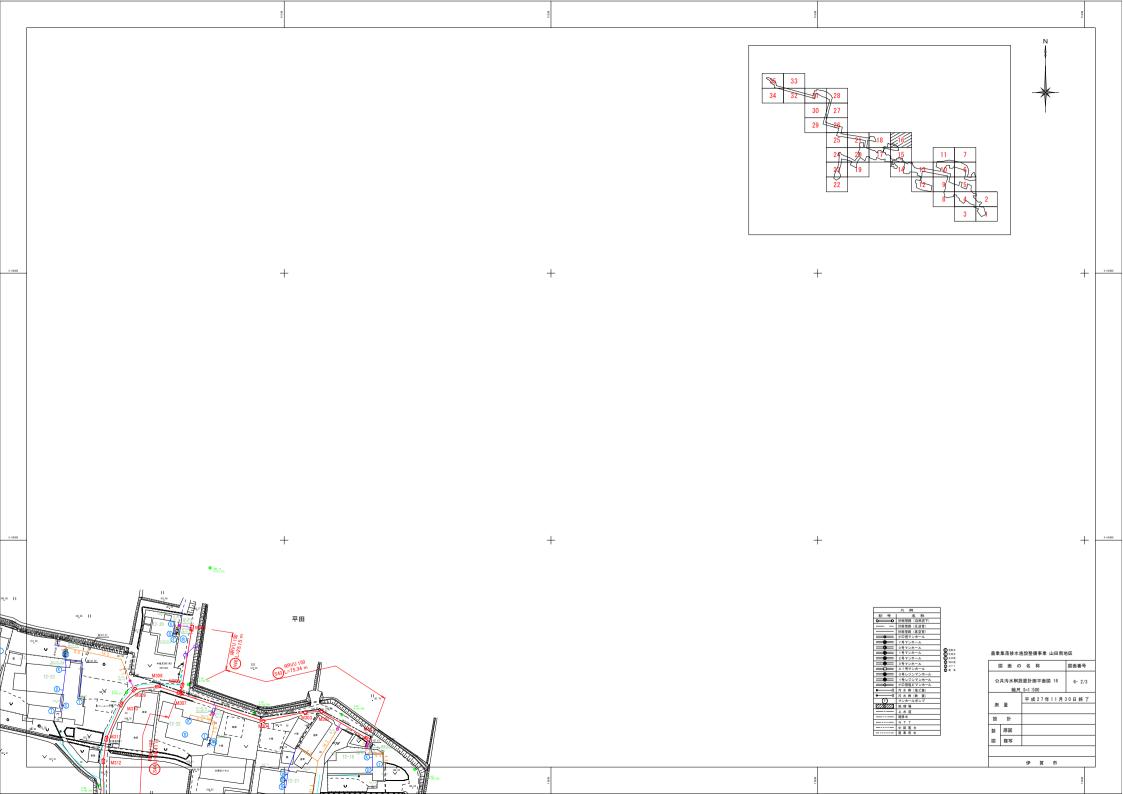
#### 公共汚水桝数量表 (600≦H≦1500)

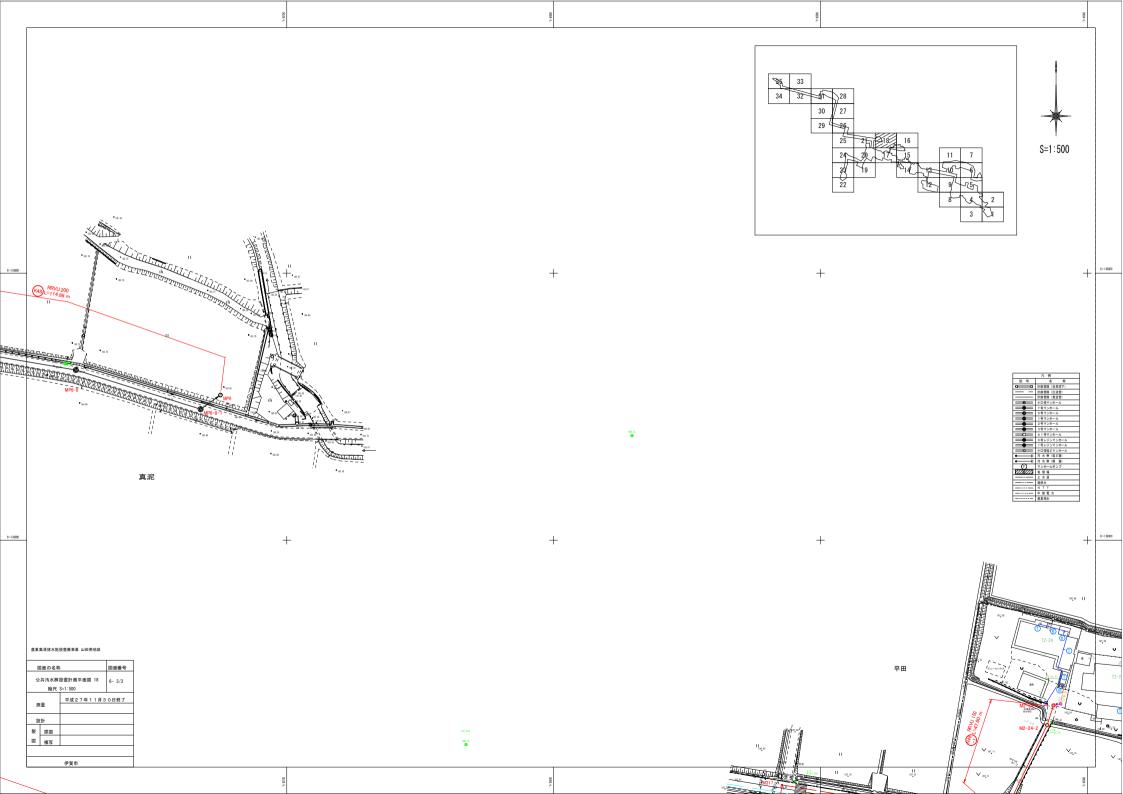
					養				塩ビ製インバート						
タイプ	高さ	範囲		保護鉄蓋		塩ビ製	内蓋	沈下	φ100用	桝立管	掘削	埋戻	砂基礎S1	砂基礎S2	
	(H)		T - 2 5	T - 1 4	T - 8	T - 2	(塩ビ製)	防止板		(m)	(m <sup>2</sup> )				
00-A						- 1			1	0.36	0.42	0. 20	0.06	0.11	0.05
00-B	0. 60				1		1	1	1	0. 25	0.42	0.18	0.06	0.11	0.05
00-C	0. 60	H≦0. 60		1			- 1	1	1	0. 25	0.42	0.19	0.06	0.11	0.05
0 0 - D	I		1				- 1	- 1	1	0. 25	0.42	0.19	0.06	0.11	0.05
00-A						- 1			1	0.46	0.48	0. 25	0.06	0.11	0.05
00-B		0. 60 <h≦0. 70<="" td=""><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>0.35</td><td>0.48</td><td>0. 24</td><td>0.06</td><td>0.11</td><td>0.05</td></h≦0.>			1		1	1	1	0.35	0.48	0. 24	0.06	0.11	0.05
00-C	0. 70	0. 60KHg0. 70		1			- 1	- 1	1	0. 35	0.48	0. 24	0.06	0.11	0.05
00-D	l		1				- 1	- 1	1	0.35	0.48	0. 24	0.06	0.11	0.05
00-A						1			1	0.56	0.54	0.31	0.06	0.11	0.05
00-B		0. 70 <h≦0. 80<="" td=""><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td>- 1</td><td>- 1</td><td>1</td><td>0.45</td><td>0.54</td><td>0. 29</td><td>0.06</td><td>0.11</td><td>0.05</td></h≦0.>			1		- 1	- 1	1	0.45	0.54	0. 29	0.06	0.11	0.05
00-C	0. 80	0. 70\Hg0. 80		1			- 1	- 1	1	0.45	0.54	0. 29	0.06	0.11	0.05
0 0 - D	i		1				- 1	- 1	1	0.45	0.54	0. 29	0.06	0.11	0.05
00-A						1			1	0.66	0.60	0.36	0.06	0.11	0.05
00-B	l				- 1		- 1	- 1	1	0.55	0.60	0.34	0.06	0.11	0.05
00-C	0. 90	0. 80 <h≦0. 90<="" td=""><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td>- 1</td><td>- 1</td><td>1</td><td>0. 55</td><td>0.60</td><td>0.34</td><td>0.06</td><td>0.11</td><td>0.05</td></h≦0.>		1			- 1	- 1	1	0. 55	0.60	0.34	0.06	0.11	0.05
0 0 - D	ı		1				- 1	- 1	1	0. 55	0.60	0.34	0.06	0.11	0.05
000-A						- 1			1	0.76	0.66	0.41	0.06	0.11	0.05
000-B	l				1		1	1	1	0.65	0.66	0.39	0.06	0.11	0.05
000-C	1. 00	0. 90 <h≦1. 00<="" td=""><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td>- 1</td><td>- 1</td><td>- 1</td><td>0. 65</td><td>0.66</td><td>0.39</td><td>0.06</td><td>0.11</td><td>0.05</td></h≦1.>		1			- 1	- 1	- 1	0. 65	0.66	0.39	0.06	0.11	0.05
000-D	1		1				- 1	- 1	1	0. 65	0.66	0.39	0.06	0.11	0.05
100-A						1			1	0.86	0.72	0.46	0.06	0.11	0.05
100-B	l				1		- 1	- 1	1	0. 75	0.72	0.44	0.06	0.11	0.05
100-C	1. 10	1. 00 <h≦1. 10<="" td=""><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td>- 1</td><td>- 1</td><td>- 1</td><td>0. 75</td><td>0.72</td><td>0.45</td><td>0.06</td><td>0.11</td><td>0.05</td></h≦1.>		1			- 1	- 1	- 1	0. 75	0.72	0.45	0.06	0.11	0.05
100-D	i		1				1	1	1	0. 75	0.72	0.45	0.06	0.11	0.05
200-A						- 1			1	0.96	0.78	0.51	0.06	0.11	0.05
200-B	1				1		1	1	1	0.85	0.78	0.50	0.06	0.11	0.05
200-C	1. 20	1. 10 <h≦1. 20<="" td=""><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>0.85</td><td>0.78</td><td>0.50</td><td>0.06</td><td>0.11</td><td>0.05</td></h≦1.>		1			1	1	1	0.85	0.78	0.50	0.06	0.11	0.05
200-D	i		1				- 1	- 1	1	0.85	0.78	0.50	0.06	0.11	0.05
300-A						- 1			1	1.06	0.84	0.57	0.06	0.11	0.05
300-B	i				1		1	1	1	0. 95	0.84	0.55	0.06	0.11	0.05
300-C	1. 30	1. 20 <h≦1. 30<="" td=""><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td>- 1</td><td>- 1</td><td>1</td><td>0. 95</td><td>0.84</td><td>0.55</td><td>0.06</td><td>0.11</td><td>0.05</td></h≦1.>		1			- 1	- 1	1	0. 95	0.84	0.55	0.06	0.11	0.05
300-D			1				1	1	1	0. 95	0.84	0.55	0.06	0.11	0.05
400-A						1			1	1. 16	0.90	0. 62	0.06	0.11	0.05
400-B					1		1	1	1	1. 05	0.90	0.60	0.06	0.11	0.05
400-C	1. 40	1. 30 <h≦1. 40<="" td=""><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1. 05</td><td>0.90</td><td>0.60</td><td>0.06</td><td>0.11</td><td>0.05</td></h≦1.>		1			1	1	1	1. 05	0.90	0.60	0.06	0.11	0.05
400-D			1				1	1	1	1. 05	0.90	0.60	0.06	0.11	0.05
500-A						- 1			1	1. 26	0.96	0.67	0.06	0.11	0.05
500-B					1		1	1	1	1. 15	0.96	0.65	0.06	0.11	0.05
500-C	1. 50	1. 40 <h≦1. 50<="" td=""><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1. 15</td><td>0.96</td><td>0.65</td><td>0.06</td><td>0.11</td><td>0.05</td></h≦1.>		1			1	1	1	1. 15	0.96	0.65	0.06	0.11	0.05
500-D			1				1	1	1	1. 15	0.96	0.65	0.06	0.11	0.05
	_		_												

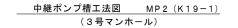
- ※1 桝深 H>1500は、組立人孔を使用。
- ※2 数量は 管路工にて計上。
- ※3 保護コンクリートは必要に応じて計上。

2	य क	တ	名	称		図面番号		
	参 考	_	(4 宿尺		: 20	5_23/23		
測	測 量 平成 年 月 日終了							
設	#+							
製	原図							
図	複写							
塩ビ製インバート詳細図								
	伊		賀		市			

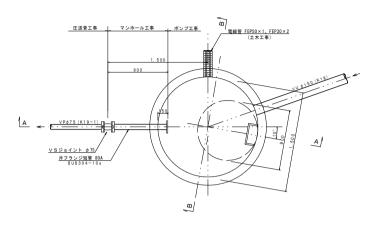




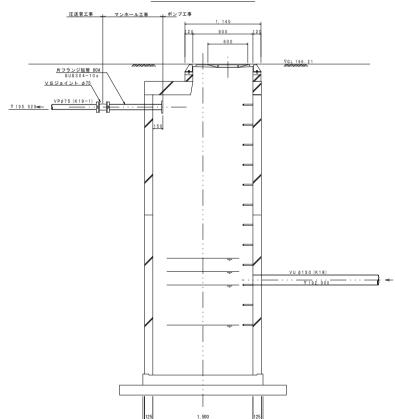


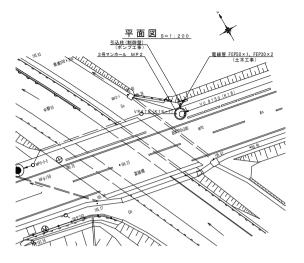


平面図 S=1:20

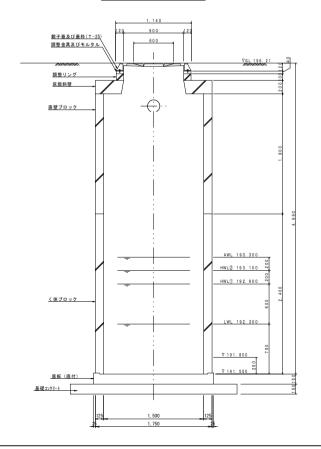


A - A 断面図 s=1:20



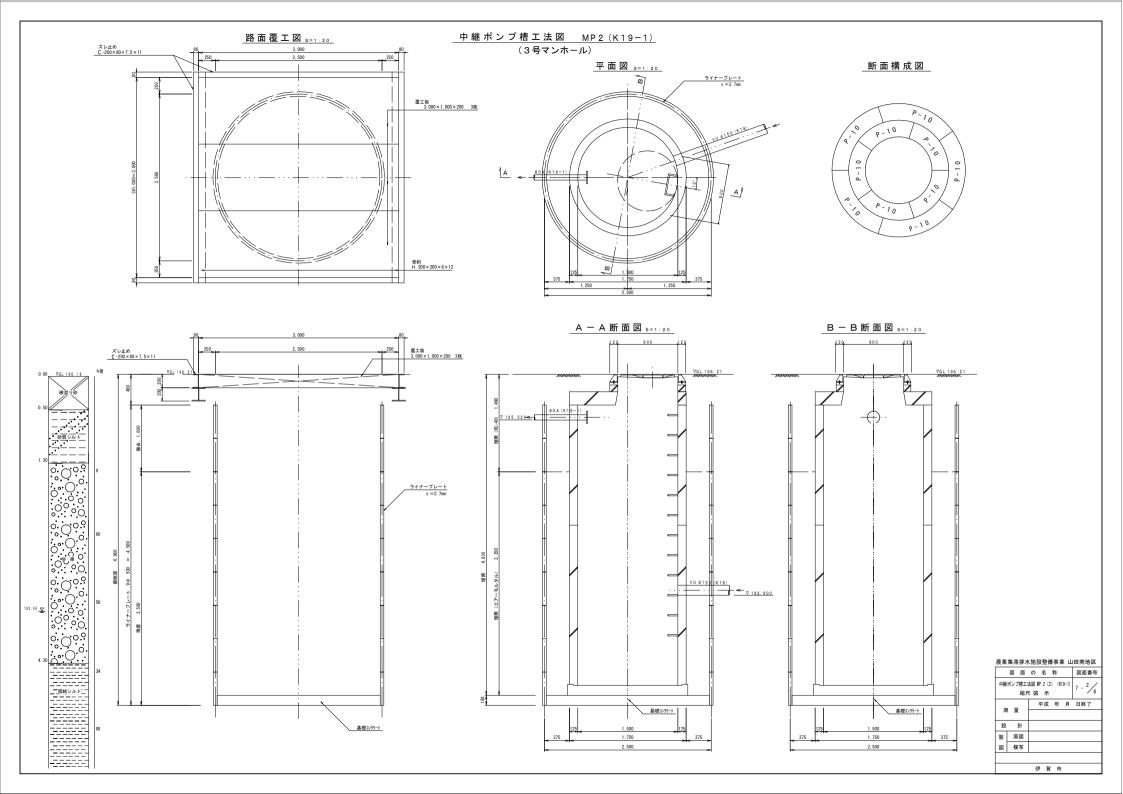


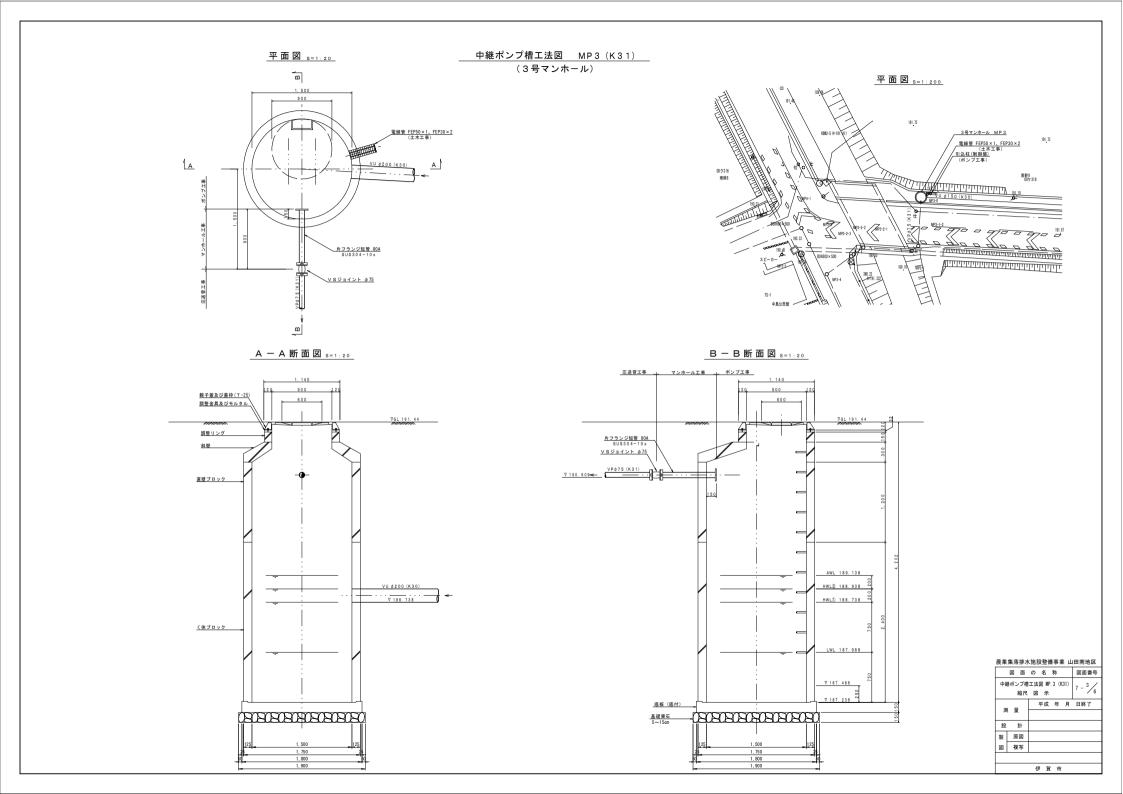
B - B 断 面 図 s=1:20

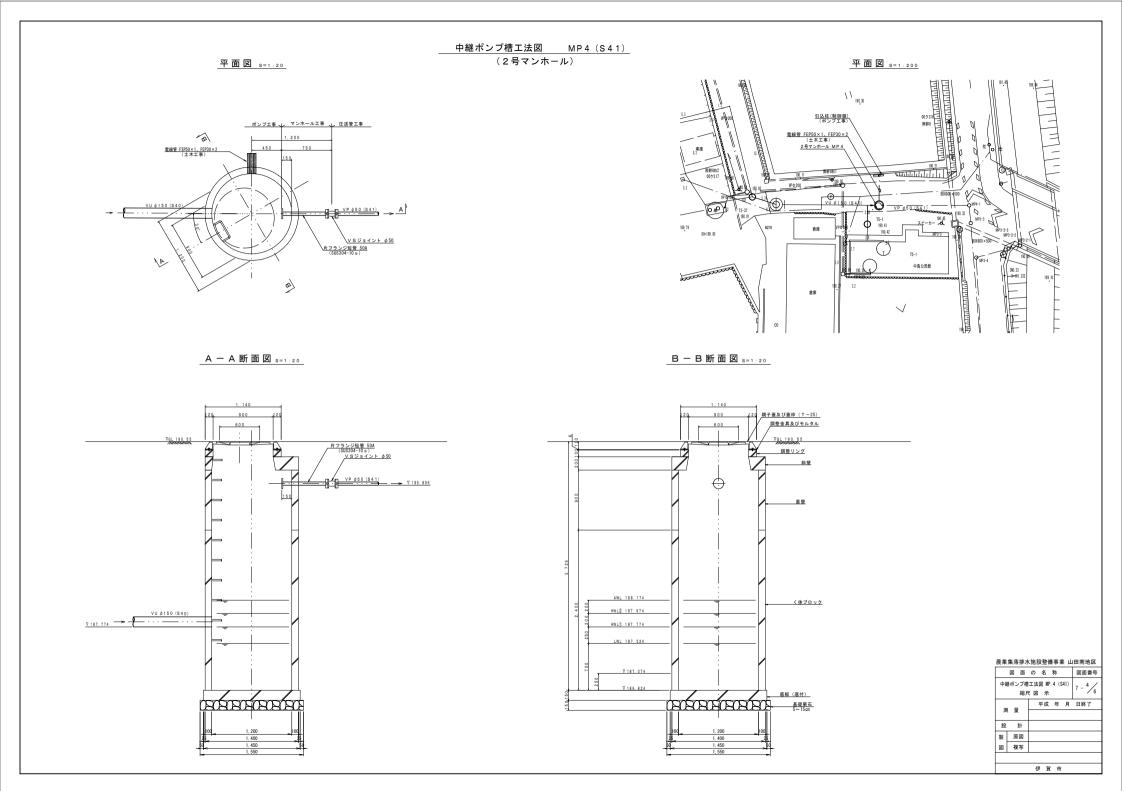


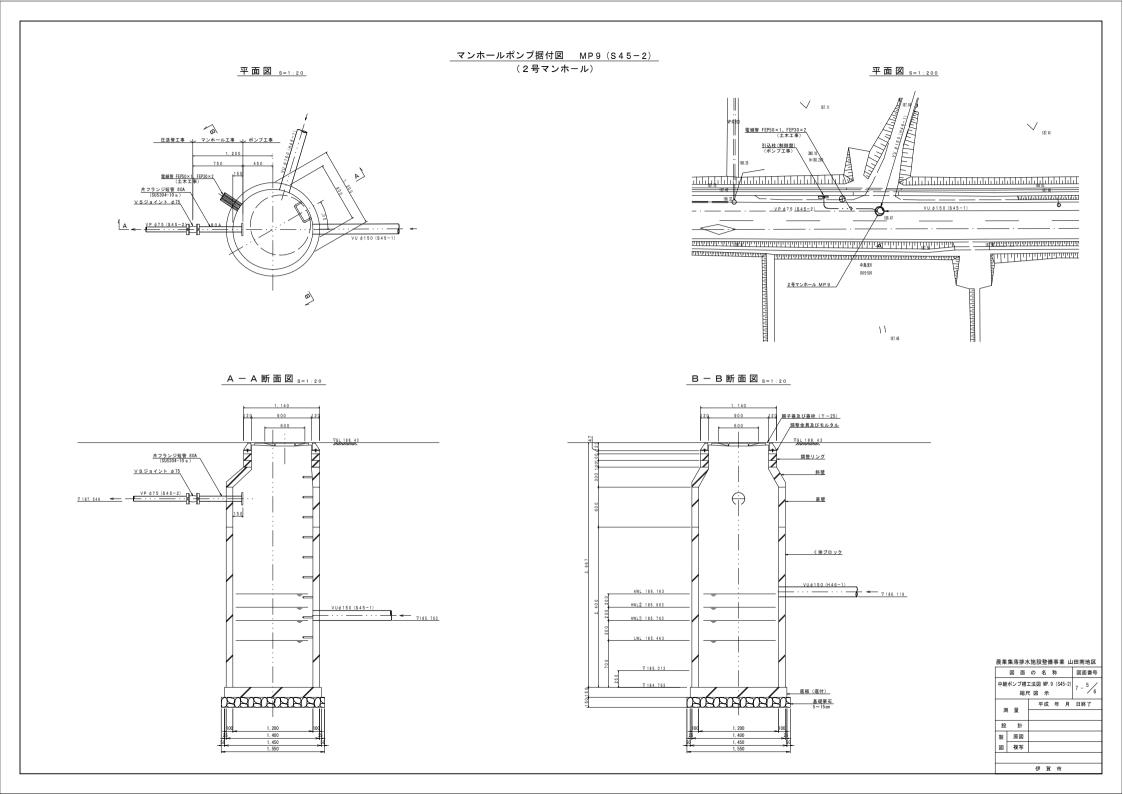
農業集落排水施設整備事業 山田南地区 図 面 の 名 称 図面番号

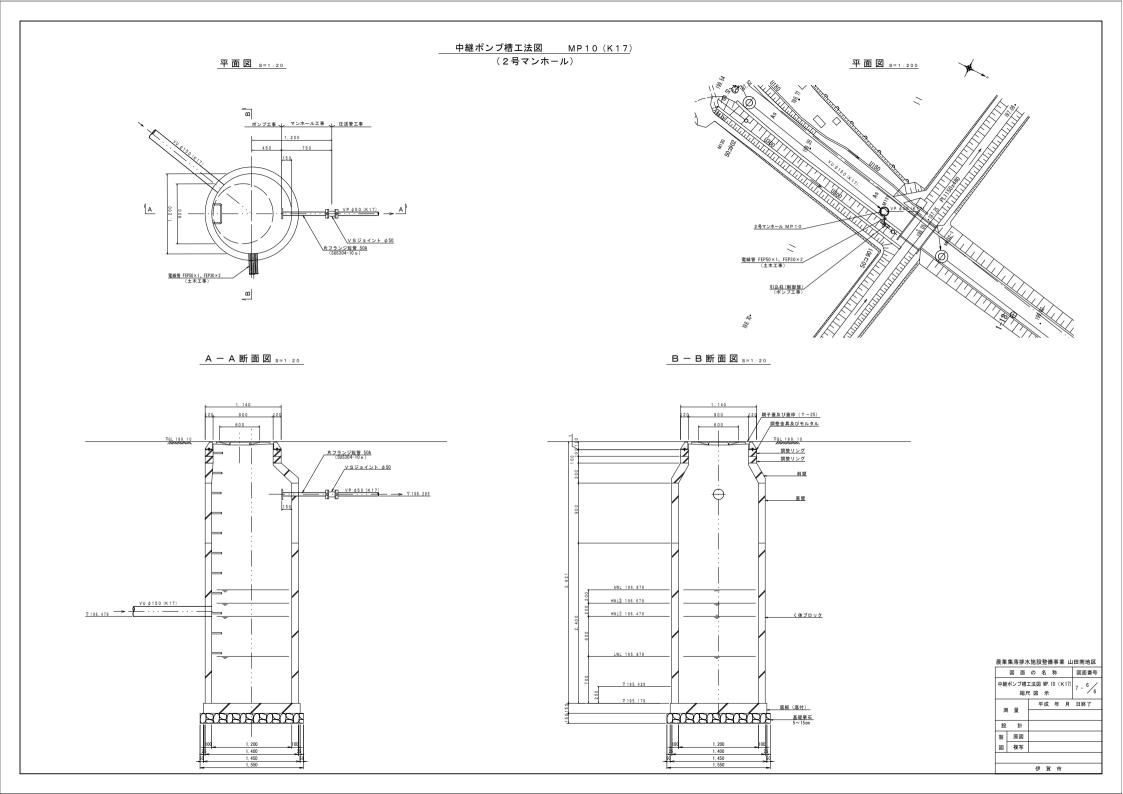
中継	ボンブ槽エ: 縮り	7 - 1/6				
28		平	成	年	月	日終了
8	1 111					
設	ät					
製	原図					
Ø	複写					
		伊	賀	市		

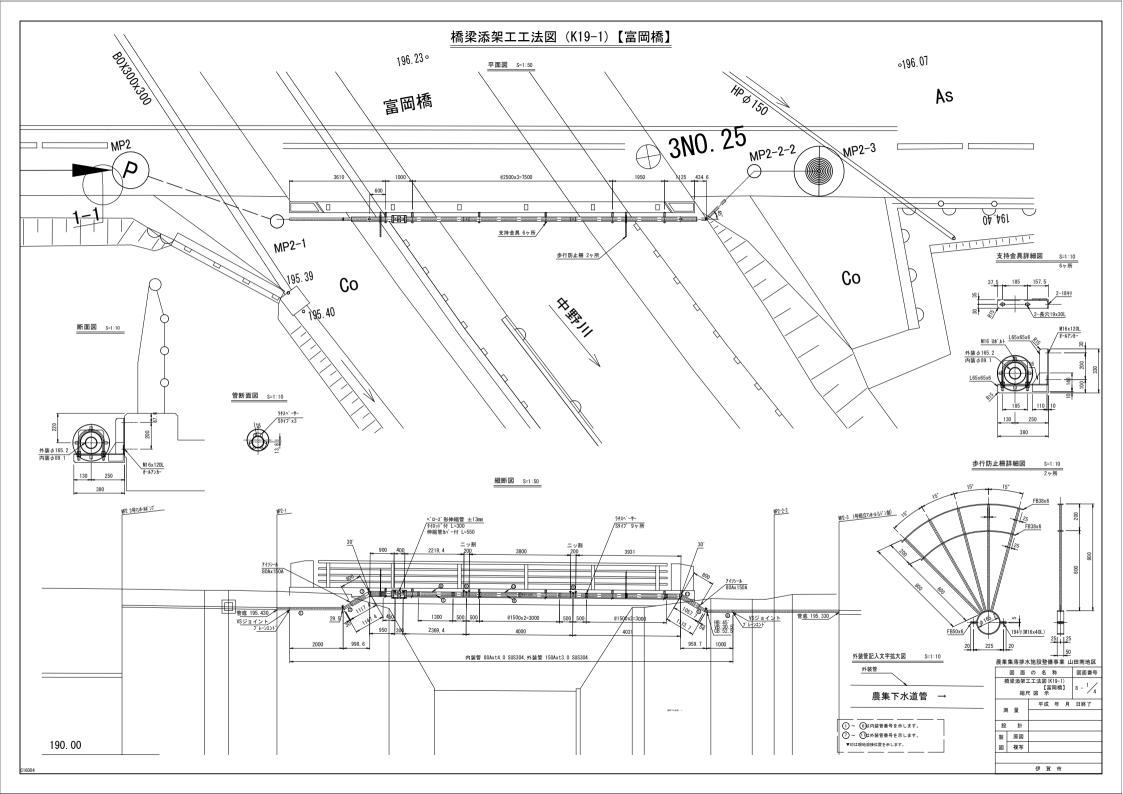


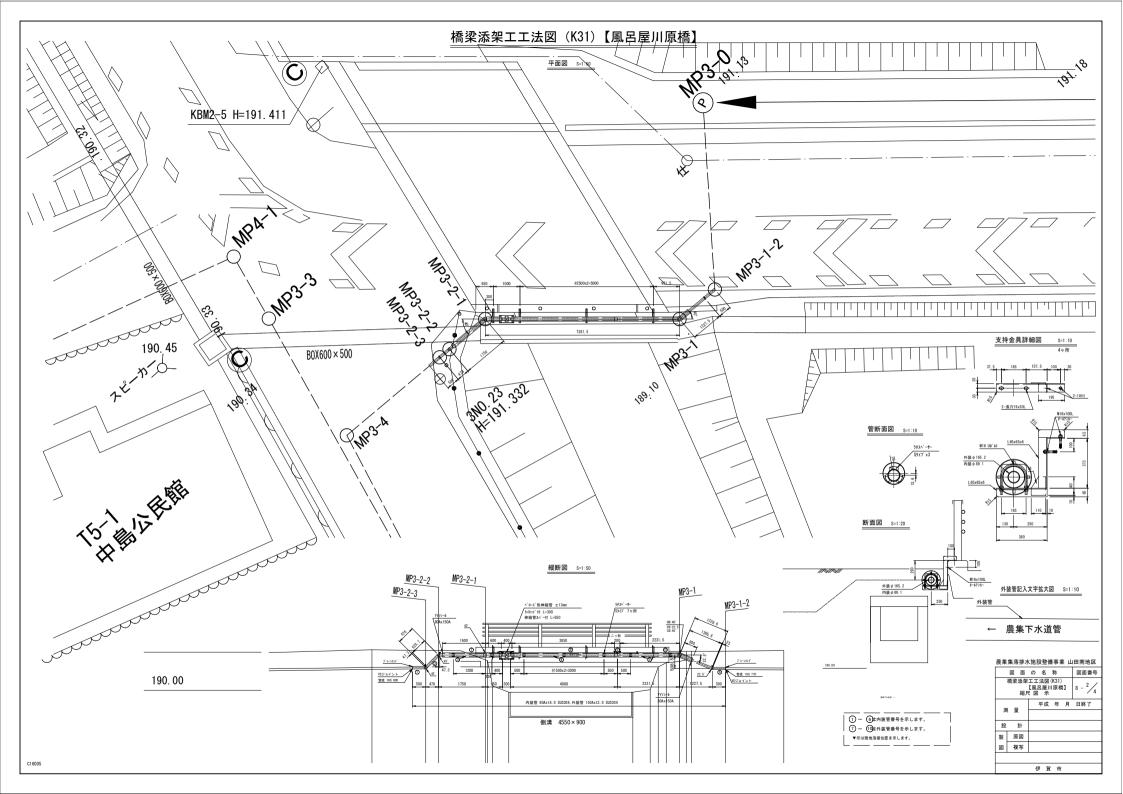


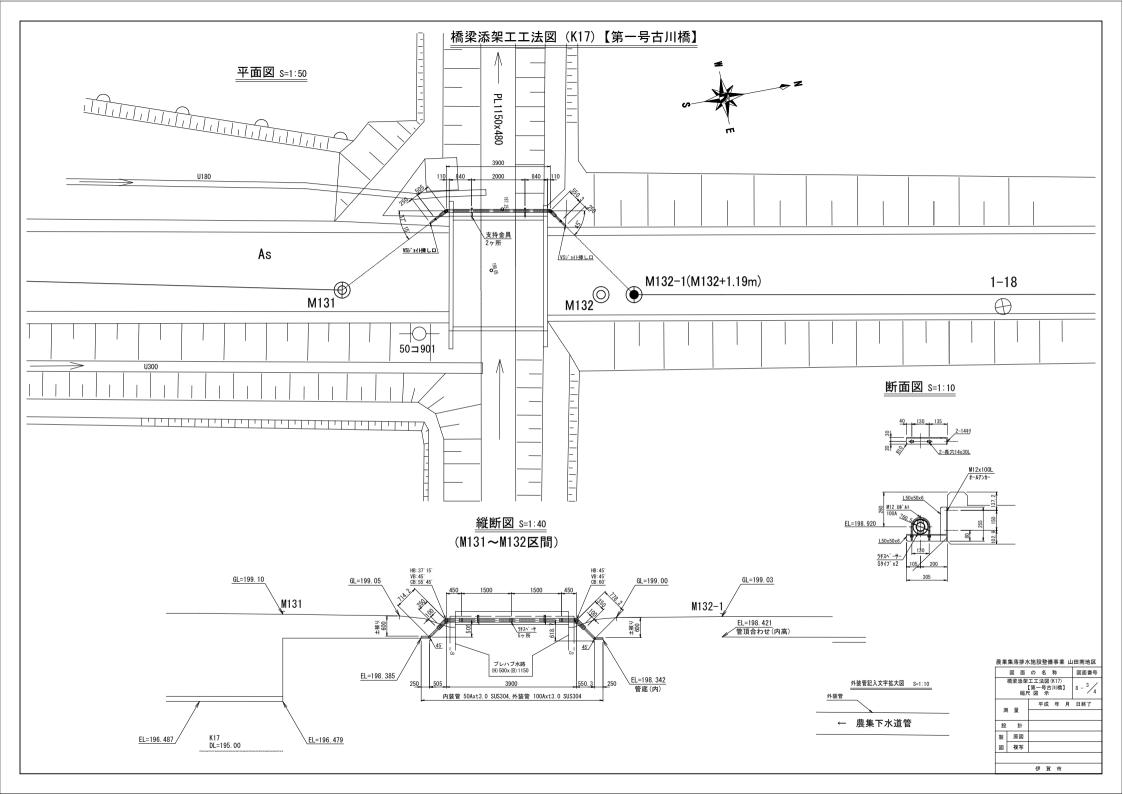






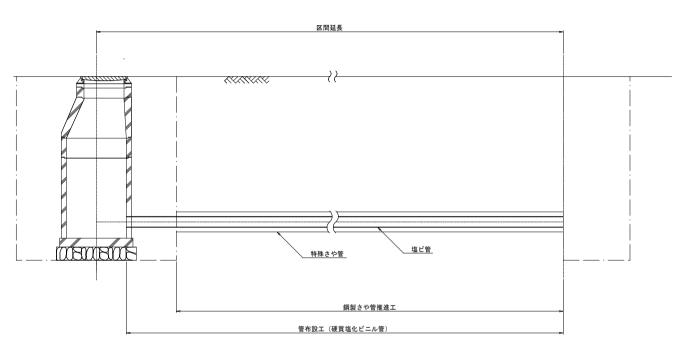


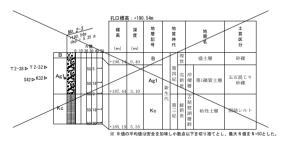


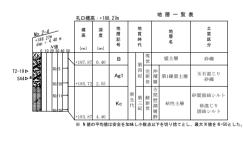


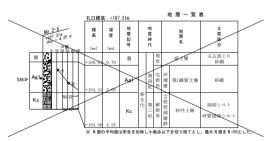
## 簡易推進工標準図

S=1:20









#### 簡易推進工(本管)数量表

路線名	区間	区間延長	特殊さや管径	特殊さや管土被り	推進工延長	塩ビ管径	塩ビ管布設延長
K 3 2	M27+86. 79~M278	3.00 m	φ500	1. 91 m	1.80 m	<del>+200</del>	2. 55 m
S 4 2	M 2 8 2 ~ M 2 8 3	6.04 m	ψ500	2.06 m	3.64 m	φ150	5. 14 m
S 4 6	M320~M321	4.54 m	φ400	2. 01 m	2. 14 m	φ150	2. 14 m
S 4 4	M311+2.10~M311+5.10	3.00 m	φ300	1. 94 m	3. 00 m	φ150	3. 00 m

簡易推進工(取付管)数量表

路線名	宅地番号	区間延長	特殊さや管径	特殊さや管土被り	推進工延長	塩ビ管径	塩ビ管布設延長
K33	T 2 - 3 2	1.80 m	φ500	1. 10 m	1_80m	φ100	1. 80m
S 4 2	T 2-38	2. 90 m	φ500	1. 20 m	2. 90m	φ100	2. 90m
H 4 7	T 2 - 1 9	1. 90 m	φ250	1. 40 m	1. 90m	φ100	1. 90m

	図面	Ø	名	称		図面番号			
簡易推進標準図(3) 縮尺 S=1:20									
28	1 9		平成	年	月	日終了			
28	1 11								
設	ät								
製	原図								
図 複写									
		有	9 10	· 市					